①令和4年度以降入学生徒対応カリキュラム

現代の国語

1. 講座名	現代の国語
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8　　必要出席回数： 2　　スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	（1）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。（知識および技能） （2）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。（思考力、判断力、表現力等） （3）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。（学びに向かう力、人間性等）
7. 活動内容	・文章を通読し（黙読・音読）、内容を把握する。 ・文章の種類・内容・構成・論理の展開などを把握しながら文章を読み、要点をつかむ。 ・文章中で用いられている漢字の読み書きができ、それらの漢字を使って文章を書く。 ・文章中で用いられている語句の意味を調べ、理解し、それらの語句を使って文章を書く。 ・指示語・接続語の意味や役割を理解し、それらを使って文章を書く。 ・分かりやすい説明文や意見文を書く。
8. 評価方法	①　知識・技能 ・レポート（30%）とテスト（70%） ②　思考・判断・表現 ・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度 ・スクーリング出席とレポート提出状況、各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価
9. 教材	「新編　現代の国語」（東京書籍） 「新編　現代の国語　学習書」（NHK 出版）

スクーリング計画	
第１回	こそそめスープ（随筆）　レポート①
第２回	水の東西（評論）　レポート②
第３回	無彩の色（評論）　レポート③
第４回	鍋洗いの日々／森で染める人（随筆）　レポート④
第５回	りんごのほっぺ（随筆）　レポート⑤
第６回	りんごのほっぺ（随筆）　レポート⑤
第７回	真の自立とは（評論）　レポート⑥
第８回	真の自立とは（評論）　レポート⑥ ※テスト対策

言語文化

1. 講座名	言語文化
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8　　必要出席回数： 2　　スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	（1）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。（知識および技能） （2）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。（思考力、判断力、表現力等） （3）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）
7. 活動内容	・文章の種類を踏まえて、内容や構成，展開などについて的確に捉える。 ・作品や文章に表れているものの見方・感じ方・考え方を捉え、内容を解釈する。 ・言葉には、文化の継承・発展・創造を支える働きがあることを理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・古文・漢文と現代文の違いについて確認する。 ・古文・漢文の世界に親しむために、必要な文語のきまりや古文・漢文に特有の表現などについて理解する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。
8. 評価方法	① 知識・技能 ・レポート（30%）とテスト（70%） ② 思考・判断・表現 ・レポート（70%）とテスト（30%） ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・スクーリング出席とレポート提出状況、各レポートの自分の意見や感想を「書く」部分の評価
9. 教材	「新編　言語文化」（東京書籍） 「新編　言語文化　学習書」（NHK 出版）

スクーリング計画	
第１回	◆現代文編：さくらさくらさくら（随筆） レポート①
第２回	◆現代文編：柳あをめる（短歌）／雪の深さを（俳句） レポート②
第３回	◆現代文編：羅生門（小説） レポート③
第４回	◆現代文編：羅生門（小説） レポート③
第５回	◆古文編：徒然草（随筆）／折々の歌（詩歌） レポート④
第６回	◆古文編：伊勢物語（物語）／奥の細道（紀行） レポート⑤
第７回	◆漢文編：訓読の基本 レポート⑥
第８回	◆漢文編：絶句と律詩（漢詩） レポート⑥ ※テスト対策

公共

1. 講座名	公共
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：2　　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6　　必要合格回数：6
6. 目標	・主体性をもって社会に参画し、自分が国家・地域社会などの一員であることを自覚することができる。 ・多様なバックグラウンドをもつ他者の存在を尊重し、互いの多様性を認め合い共生することができる。 ・市民の一員として公共的な空間を作る存在であることに責任を持ち、現代の諸課題について解決の道を検討、他者と議論することができる。
7. 活動内容	・スクーリングはレポート内容に沿って、基本的な知識を中心に学ぶ。現代社会の諸課題について自分自身の意見を表現したり、共有する時間も含む。
8. 評価方法	①知識・技能（35%） 筆記式テスト+レポート課題 基本的な用語や事象などの語句の理解・資料の読み取り ②思考・判断・表現（35%） 筆記式テスト+レポート課題 数値の推移、比較、関連性を問う、考察する論述課題 ③主体的に学習に取り組む態度（30%） 各回期限内のレポート提出+スクーリング出席回数
9. 教材	教育図書『高等学校　公共』

スクーリング計画		レポート
第１回	イントロダクション「公共の扉」 本講座の説明、目的、意義 日本国憲法　導入	レポート①
第２回	「日本国憲法１」 　前文、大日本帝国憲法との比較、立憲主義、 　　三つの原理、象徴天皇制、憲法改正	レポート②
第３回	「日本国憲法2」 基本的人権、平等権、自由権、表現の自由、 ヘイトスピーチ、ジェンダー、新しい人権	レポート③
第４回	「１８歳選挙権」 内閣と国会、裁判員裁判、選挙のしくみ、政治と世論	レポート④
第５回	「社会保障と労働」 少子高齢化、社会保障制度（四つの柱）、労働法	レポート⑤
第６回	「消費者主権」 契約法、消費者の権利と責任、オンラインショッピング	レポート⑤
第７回	「国際平和と現代の戦争」 平和主義、紛争、民族問題	レポート⑥
第８回	テーマ学習「現代社会における身近な多様性を考えよう」 まとめ・テスト対策	

数学Ⅰ㊤

1. 講座名	数学Ⅰ㊤
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：８　必要出席回数：２　　スクーリング代替課題：１
5. レポート	総回数：６　必要合格回数：６
6. 目標	[知識・技能] ・「数と式」「二次関数」ついての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。（中学までの振り返りも含める） ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 [思考力・判断力・表現力] ・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察することができる。 [主体性] ・数学のよさを認識し数学を活用しようとすることができる。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとすることができる。
7. 活動内容	・「数と式」「二次関数」の2単元について学習する。 （それぞれの単元に関する中学までの振り返りも行う） ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。 ・主体的にチャレンジ問題【Let’s challenge!】に取り組む。
8. 評価方法	①知識・技能 ・レポートとテスト ②思考・判断・表現 ・レポートとテスト ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポート提出時期とスクーリング出席回数，レポート内のチャレンジ問題【Let’s challenge!】や，振り返り欄の記入内容等により評価
9. 教材	東京書籍　新数学Ⅰ 東京書籍　新数学Ⅰ（解答編）

スクーリング計画	
第１回	レポート①　数と式 整数の四則計算，素因数分解，公倍数，公約数，小数の計算，分数の計算　について学習し理解を深める
第２回	レポート①②　数と式 工夫ができる計算/正負の数の四則計算，文字式，項、式の加減、分配法則，　について学習し理解を深める
第３回	レポート②　数と式 式の展開、因数分解　について学習し理解を深める レポート②【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第４回	レポート③　数と式 平方根，√の入った四則計算，分母の有理化　について学習し理解を深める
第５回	レポート③④　数と式 方程式，不等式/2次方程式　について学習し理解を深める
第６回	レポート④　数と式・2次関数 関数，１次関数，2次関数，2次関数の平行移動　について学習し理解を深める
第７回	レポート⑤　２次関数 平方完成，２次関数の最大値・最小値　について学習し理解を深める
第８回	レポート⑥　２次関数 2次関数のグラフと x 軸との共有点，２次不等式　について学習し理解を深める レポート⑥【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)

数学Ⅰ㊦

1. 講座名	数学Ⅰ㊦
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：８　必要出席回数：２　　スクーリング代替課題：１
5. レポート	総回数：６　必要合格回数：６
6. 目標	[知識・技能] ・「図形と計量」「データの分析」「集合と論証」ついての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。（中学までの振り返りも含める） ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 [思考力・判断力・表現力] ・図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現できる。 ・社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考査し判断したりすることができる。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し，集合の考えを用いて命題を論理的に考察し，簡単な命題の証明をすることができる。 [主体性] ・数学のよさを認識し数学を活用しようとすることができる。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとすることができる。
7. 活動内容	・「図形と計量」「データの分析」の2単元について学習する。 （それぞれの単元に関する中学までの振り返りも行う） ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、 教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。 ・主体的にチャレンジ問題【Let’s challenge!】に取り組む。
8. 評価方法	①知識・技能 ・レポートとテスト ②思考・判断・表現 ・レポートとテスト ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポート提出時期とスクーリング出席回数， レポート内のチャレンジ問題【Let’s challenge!】や，振り返り欄の記入内容等 により評価
9. 教材	東京書籍　新数学Ⅰ 東京書籍　新数学Ⅰ（解答編）

スクーリング計画	
第１回	**レポート①　図形と計量** 三平方の定理，サイン・コサイン・タンジェント，　三角比の利用　について学習し理解を深める
第２回	**レポート②　図形と計量** 三角比の相互関係，90°−A の三角比，三角形の面積，正弦定理　について学習し理解を深める
第３回	**レポート②③　図形と計量** 余弦定理，鈍角の三角比，　について学習し理解を深める レポート②【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第４回	**レポート③　図形と計量** 三角比の相互関係，三角形の面積，余弦定理，　について学習し理解を深める レポート③【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第５回	**レポート④　データの分析と計量** 度数分布表とヒストグラム，代表値と箱ひげ図，分散と標準偏差　について学習し理解を深める
第６回	**レポート④⑤　データの分析と計量** 散布図，相関関係　について学習し理解を深める レポート⑤【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第７回	**レポート⑥　命題と論証** 集合，補集合，共通部分と和集合，命題と真・偽，否定　について学習し理解を深める
第８回	**レポート⑥　命題と論証** 必要条件，十分条件，対偶　について学習し理解を深める

数学 A

1. 講座名	数学 A
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 8　必要出席回数： 3　　スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6　必要合格回数： 6
6. 目標	[知識・技能] ・「場合の数と確率」「図形の性質」ついての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 [思考力・判断力・表現力] ・不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 ・図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察することができる。 [主体性] ・数学のよさを認識し数学を活用しようとすることができる。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとすることができる。
7. 活動内容	・「場合の数と確率」「図形の性質」の2単元について学習する。 ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。 ・主体的にチャレンジ問題【Let’s challenge!】に取り組む。
8. 評価方法	①知識・技能 ・レポートとテスト ②思考・判断・表現 ・レポートとテスト ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポート提出時期とスクーリング出席回数，レポート内のチャレンジ問題【Let’s challenge!】や，振り返り欄の記入内容等により評価
9. 教材	東京書籍　新数学A 東京書籍　新数学A（解答編）

スクーリング計画	
第１回	**レポート①　場合の数と確率** 集合の理解，共通部分と和集合，集合の要素の個数，和の法則順列、組合せ　について学習し理解を深める
第２回	**レポート①②　場合の数と確率** 和の法則順列、組合せ　/　試行の確率を求める，確率の計算　について学習し理解を深める レポート①【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第３回	**レポート②③　場合の数と確率** 排反事象の確率，余事象の確率　/　独立な試行の確率の計算　について学習し理解を深める レポート②【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第４回	**レポート　③　場合の数と確率** 反復試行の確率，積事象の確率，　期待値　について学習し理解を深める レポート③【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第５回	**レポート④　図形の性質** 角の表し方，対頂角の性質，三角形の内角と外角の性質，三角形の合同と相似の表し方と活用 について学習し理解を深める
第６回	**レポート④⑤　図形の性質** 三角形と比の性質，中点連結定理の利用　について学習し理解を深める レポート④【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第７回	**レポート⑤⑥　図形の性質** 三角形の重心を求める，三角形の重心の性質/三角形の外心の性質　について学習し理解を深める
第８回	**レポート⑥　図形の性質** 三角形の内心の性質，角の二等分線と線分の比　について学習し理解を深める レポート⑥【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)

科学と人間生活

1. 講座名	科学と人間生活
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 8　必要出席回数：　8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　必要合格回数：　6
6. 目標	【知技】 ・視覚，血糖濃度の調節，免疫，遺伝子のはたらきについて，人間生活と関連付けて理解している。 ・金属やプラスチックの種類，性質および用途と資源の再利用について，人間生活と関連付けて理解している。 ・光の進み方とその基本的な性質，目に見える光と色の見え方，目に見えない光とその利用について，人間生活と関連付けて理解している。 ・太陽と月，地球の運動と潮汐との関係，太陽の放射エネルギーが大気や海洋におよぼす影響について，人間生活と関連付けて理解している。 【思考】 ・一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のグラフを読み取り，科学的に考察して，免疫記憶の利点を見いだし，　表現している。 ・スチール缶やアルミニウム缶の再生利用の利点について，資料などを基に科学的に考察して見いだし，表現している。 ・生活経験を基に，水底が浅く見える現象などに着目し，物質の境界面での光の進み方や偏光板の性質を理解し，表現している。 ・既習の内容や生活経験を基に，太陽の放射エネルギーに着目し，太陽の放射エネルギーと大気や気候とのかかわりに問題を見いだし，表現している。 【態度】 ・学んだことを生かして，転写と翻訳を経て体内でタンパク質がつくられる過程（セントラルドグマ）について，自らの言葉で表現しようとしている。 ・資料などを調べたり，対話したりしながら，プラスチックやその再生利用と人間生活とのかかわりについて多面的に考えようとしている。 ・偏光板を通して，繰り返しいろいろなものを見て調べたり，対話したりしながら，光の波としての性質を見いだそうとしている。 ・学んだことを生かして，地球の自転や公転と月の公転によりどのように日，月，年がつくられるか，自分なりの図や言葉で表現しようとしている。
7. 活動内容	授業で学んだことや関心のあることについて表現したり、身近な科学現象について調べたりして、科学と私たちの生活のかかわりを探求する。
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	東京書籍：科学と人間生活

スクーリング計画	
第１回	レポート①「ヒトの生命現象」１ 分野「視覚，血糖濃度の調節」の解説
第２回	レポート②「ヒトの生命現象」２ 分野「免疫・セントラルドグマ」の解説
第３回	レポート③「材料とその再利用」分野「金属の性質用途、再生」の解説
第４回	レポート③「材料とその再利用」分野「プラスチックの性質、種類、再生」の解説
第５回	レポート④「光の性質とその利用」１ 分野「光の進み方と基本性質、全反射など生活の中での光の性質」の解説
第６回	レポート⑤「光の性質とその利用」２ 分野「目に見えない光・電磁波とその応用」の解説
第７回	レポート⑥「太陽と地球」分野「太陽の性質とその動き・放射エネルギー」の解説
第８回	レポート⑥ 「太陽と地球」分野「太陽・月・地球の関係、どのように日・月・年が刻まれるか」の解説

体育c

1. 講座名	体育c（卓球・テニス）
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 10　　必要出席回数： 10　　スクーリング代替課題： 6
5. レポート	総回数： 2　　必要合格回数： 2
6. 目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる（知識・技能） 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てることができる （思考・判断・表現） 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てることができる （主体的）
7. 活動内容	実技形式 個人でのスキル（技術）練習 ペアでのラリー練習 試合形式（簡易ゲーム）
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	大修館　現代高等保健体育 大修館　ステップアップ高校スポーツ

スクーリング計画	
第 1 回	オリエンテーション、レポート①②作成
第 2 回	実技①卓球（ラケット・ボール慣れ、ラリー） テニス（ラケット・ボール慣れ、ラリー）
第 3 回	実技②卓球（ラリー、サーブ、簡易ゲーム） テニス（ラリー、壁打ち）
第 4 回	実技③卓球（簡易ゲーム） テニス（簡易ゲーム）
第 5 回	レポート①②完成、振り返り

書道Ⅰ

1. 講座名	書道Ⅰ
2. 分類	共通教科科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数：6　　必要合格回数：6
6. 目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
7. 学習内容	書写で学んできたこと、用具・用材、姿勢・執筆法 漢字の書の成立と変遷、古典に基づく学習 楷書 「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」 行書 「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」 草書 「真草千字文」　隷書 「曹全碑」　篆書 「泰山刻石」 仮名の成立　平仮名の単体　変体仮名　連綿 「高野切第三種」「関戸本古今和歌集」 漢字仮名交じりの書　篆刻と落款
8. 評価方法	課題作品の制作の様子やレポート記述の点検等により行う。 ①　知識・技能 ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 ②　思考・判断・表現 ・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。 ③　主体的に学習に取り組む態度 ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
9. 教材	「書道Ⅰ」（東京書籍）

スクーリング計画	
第１回	・中学校書写で学習したことの確認として、楷書と楷書に調和する仮名、行書と行書に調和する仮名について学習する。 ・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 ・基本の姿勢、執筆法について、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。 ・漢字の成立と変遷について理解する。 ・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 ・「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、それぞれの文字から受ける印象について考える。 ・楷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。
第２回	・楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 ・行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。 ・行書の特徴を理解する。 ・行書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 ・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。
第３回	・草書が成立する過程や草書の特徴について理解する。 ・「真草千字文」を鑑賞し、その美について理解する。 ・隷書が成立する過程や隷書の特徴について理解する。 ・「曹全碑」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「曹全碑」の臨書を通して、隷書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。 ・篆書が成立する過程や篆書の特徴について理解する。 ・「泰山刻石」を鑑賞し、その美について理解する。
第４回	・仮名の成立と変遷について理解する。 ・平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。 ・変体仮名について理解し、練習する。 ・連綿について理解し、練習する ・平安時代の代表的な古筆を臨書する意義について理解する。 ・古筆を鑑賞し、その美について理解する。 ・漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。 ・落款の意味や種類について理解する。 ・篆刻の用具・用材や落款印の手順について理解する。 ・篆刻の作品を鑑賞する。

英語コミュニケーション Ⅰ㊤

1. 講座名	英語コミュニケーション Ⅰ㊤
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 9　　必要出席回数： 8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	① 身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ② 身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ③ 異文化について興味を持ち、コミュニケーションを通して気持ちを伝えたり相手を理解したりしようとする前向きな態度を養う。 ④ 多様な価値観を受容し、問題解決に向けて協働する意識を養う。
7. 活動内容	教科書の各課のテーマは自己紹介、好きな食べ物、動物、行ってみたい場所など。それらのテーマについて、短い文章の読解をしたり、簡単なやりとりができるように（可能な人は）ペアで会話練習をしたりする。基本的な語彙や文法の説明も授業中に行う。また、レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、まちがいをおそれず積極的に書くこと。各課の終わりにはスクーリングを振り返り、学んだことや感じたことなどをレポートにまとめる。
8. 評価方法	①知識・技能 ・レポート（30%）とテスト（70%） 語彙や文型の問題 ②思考・判断・表現 ・レポート（70%）とテスト（30%） 読解、作文、会話の問題 ③ 主体的に学習に取り組む態度 レポートの「振り返り」部分（34%）とスクーリング出席とレポート合格（66%）
9. 教材	All Aboard! English Communication Ⅰ　東京書籍

スクーリング回数	授業内容	レポート
第１回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Warm-Up P.10~11 Pre-Lesson 1　My Name Is Ito Neko	レポート①
第２回	Pre-Lesson 2 I Like Junk Food Lesson 1 Breakfast around the World	レポート①②
第３回	Lesson 1 Breakfast around the World Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	レポート②③
第４回	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	レポート③
第５回	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	レポート④
第６回	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku Lesson 4 A Miracle Mirror	レポート④⑤
第７回	Lesson 4 A Miracle Mirror	レポート⑤
第８回	Lesson 5 Learning from the Sea	レポート⑥
第９回	Lesson 5 Learning from the Sea 復習	レポート⑥

英語コミュニケーション Ⅰ㊦

1. 講座名	英語コミュニケーション Ⅰ㊦
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 9　　必要出席回数： 8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	① 身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ② 身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ③ 異文化について興味を持ち、コミュニケーションを通して気持ちを伝えたり相手を理解したりしようとする前向きな態度を養う。 ④ 多様な価値観を受容し、問題解決に向けて協働する意識を養う。
7. 活動内容	教科書の各課のテーマは、日本の伝統文化（浮世絵）、歴史上の人物（アンネ・フランク）、環境問題、戦争と平和など。それらのテーマについて、短い文章の読解をしたり、簡単なやりとりができるように（可能な人は）ペアで会話練習をしたりする。基本的な語彙や文法の説明も授業中に行う。また、レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、まちがいをおそれず積極的に書くこと。各課の終わりにはスクーリングを振り返り、学んだことや感じたことなどをレポートにまとめる。
8. 評価方法	①知識・技能 ・レポート（30%）とテスト（70%） 語彙や文型の問題 ② 思考・判断・表現 ・レポート（70%）とテスト（30%） 読解、作文、会話の問題 ③ 主体的に学習に取り組む態度 レポートの「振り返り」部分（34%）とスクーリング出席とレポート合格（66%）
9. 教材	All Aboard! English Communication Ⅰ　東京書籍

スクーリング回数	授業内容	レポート
第１回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Lesson 6　Funny Picture from the Edo Period	レポート①
第２回	Lesson 6　Funny Picture from the Edo Period	レポート①
第３回	Lesson 7　A Diary of Hope	レポート②
第4回	Lesson 7　A Diary of Hope Lesson 8　A Door to a New Life	レポート②③
第５回	Lesson 8　A Door to a New Life	レポート③
第６回	Lesson 9　Fighting Plastic Pollution	レポート④
第７回	Lesson 9　Fighting Plastic Pollution Lesson 10　Pigs from across the Sea	レポート④⑤
第８回	Lesson 10　Pigs from across the Sea	レポート⑤
第９回	復習	レポート⑥

情報Ⅰ

1. 講座名	情報Ⅰ
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：4　　スクーリング代替課題：2
5. レポート	総回数：4　　必要合格回数：4
6. 目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせることができる。（知識・技能） 情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。 （思考・判断・表現） 情報社会に主体的に参加するための資質・能力持つことができる。 （主体的に学習に取り組む態度）
7. 学習内容	・教科書に書いてある語句や理論を理解し、自分なりに適切に判断して表現できるようにレポートに取り組む。 ・アルゴリズムについて理解しプログラムの基本構造を利用して、端末を操作しプログラミングを行う。 ・インターネットの仕組みや検索方法を学び、インターネット端末を利用して取り組む。
8. 評価方法	＊レポート、スクーリングとテストで評価し、各評価項目は以下の方法に従って行う。 コンピュータやメディア・プログラミングなどの基礎的な知識や活用は、レポートとテストによって評価する。 学習内容から学んだ知識や技術を適切に判断して表現できているかは、レポートおよび提出課題や成果物とテストによって評価する。 情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている姿勢は、成果物やレポートの振り返りやスクーリング出席回数で評価する。
9. 教材	東京書籍　新編 情報Ⅰ

スクーリング計画	
第１回	情報とメディアの特性・問題解決の流れ・発想法・情報モラル 個人情報の流出・著作権・ネットコミュニケーションの特徴 ※教科書 p6~p38
第２回	デジタルの世界へ・数値と文字のデジタル表現・音と画像のデジタル表現 色と動画のデジタル表現・目的に応じたデジタル化 ※教科書 p38~p60
第３回	情報デザイン・ユニバーサルデザイン・情報デザインの流れ コンピュータとは何か・ソフトウェアの仕組み ※教科書 p62~p65
第４回	演算の仕組みとコンピュータの限界・アルゴリズムの表現 ※教科書 p66~p69
第５回	プログラムの基本構造1・プログラムの基本構造2 ※教科書 p70~p73
第６回	発展的なプログラム1・発展的なプログラム2 ※教科書 p74~p77
第７回	ネットワークとインターネット・インターネットの仕組み サーバとクライアント・インターネットのサービス・情報セキュリティ ※教科書 p90~p99
第８回	データ形式・データベースの活用・データ分析の流れ ※教科書 p100~p149

初めて知るキリスト教

1. 講座名	初めて知るキリスト教
2. 分類	必修科目
3. 単位数	1単位
4. スクーリング	総回数： 4　　必要出席回数： 3　　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数： 4　　必要合格回数： 3
6. 目標	本校の教育目標である「命の尊厳」を生徒が自分ごととして実感することを目標とする。「一人一人が既に愛されている」こと、「神様に似せた存在として作られた」ことに気づき、自己肯定感を持って今後の人生を歩んでいくことができるよう、聖書のメッセージから学びと気づきを持たせる。
7. 活動内容	現代の高校生にとって日々生活していくうえで知っておいてほしい聖書のメッセージを、主に新約聖書の箇所を通して学び、自分の考えをまとめる。また、キリスト教が日常生活と深く関係していることを体感してもらうため、授業内で音楽などのキリスト教文化を紹介する。
8. 評価方法	①知識・技能 ・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現 ・レポート（70%）とテスト（30%） ③ 主体的に学習に取り組む態度 レポートの「振り返り」部分（34%）とスクーリング出席とレポート合格（66%）
9. 教材	配布プリント

スクーリング回数	授業内容	レポート
第 1 回	キリスト教における、神の人に対する関わり方 聖書箇所：ルカによる福音書 15 章 11～24 節	レポート①
第 2 回	キリスト教における命の考え方 聖書箇所：マタイによる福音書 20 章 1～16 節	レポート②
第 3 回	キリスト教における幸せの考え方 聖書箇所：ルカによる福音書 18 章 18～23 節	レポート③
第 4 回	讃美歌を通してキリスト教の教えに触れる	レポート④

産業社会と人間 A

1. 講座名	産業社会と人間 A
2. 分類	総合
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 4　必要出席回数： 3
5. レポート	総回数： 4　必要合格回数： 3
6. 目標	1 自己の生き方を探求させるという観点から、 ①自身の過去を振り返り、現在の状況、そして、将来への希望を模索する。 ②仕事について自ら調べ、必要なスキル、進路選択を自ら探す。 （思考・判断・表現） ③自己啓発的な講演などを通して、職業の選択決定に必要な能力・態度を培う ④共生社会について学習し、自ら今の社会においての課題とこれからどうしていくべきであるかを考える。 （知識・技能）（思考・判断・表現） ⑤共生社会について学び現代社会の現状と課題に対して主体的に参加するための資質・能力持つことができる。　（主体的に学習に取り組む態度）
7. 活動内容	1「自分の過去・将来について考える」 2.「共に生きる社会を考える」 3.「仕事について学ぶ」
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	仕事から見つける学校資料 講演での配布資料

スクーリング計画	
第 1 回	自分の過去を振り返り、将来について考える
第 2 回	講演（共生社会①）正社員とアルバイト
第 3 回	講演（共生社会②）正社員とアルバイト / 野宿者とともに /
第 4 回	講演（共生社会③）野宿者とともに /UNICEF

地球市民入門

1. 講座名	地球市民入門
2. 分類	総合科目　多文化共生系列
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：20　　必要出席回数：6　　スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：4　　必要合格回数：4
6. 目標	①「紛争」「貧困・差別」、「環境問題」など、個人や一国だけの取り組みでは解決できない課題（Global Issues ＝ 地球規模）の課題について気づく。 ② 自分の考えをまとめ、発言、他の生徒との共有などを通じて、その問題についての考察を深め、行動につなげる。
7. 活動内容	上記の目標①の課題について、フィールドワーク（現場訪問）、ゲストスピーカーの講話、グループワーク、映画・YouTube視聴などを交えながら学び、考察を深めていきます。 天候その他の都合により、以下の授業の内容が入れ替わることがあります。また、フィールドワークには交通費実費、入館料等が必要になる場合があります。
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	スクーリングで配布されたプリント

スクーリング回数	授業内容	レポート
第1・2回	オリエンテーション：「平和」って何だろう？	
第3・4回	YMCAと私、そして世界とつながる。	
第5・6回	地球の歩き方1	レポート①
第7・8回	フィールドワーク1　大阪城戦争痕跡探索ツアー	
第9・10回	ジェンダー（社会的性差）を考える1	レポート②
第11・12回	ジェンダー（社会的性差）を考える2	
第13・14回	フィールドワーク1　人権・差別を考える	レポート③
第15・16回	NGO,NPOの活動を知ろう。	
第17・18回	グループワーク「貿易ゲーム」	レポート④
第19・20回	振り返り会（パーティー）	

多文化共生考

1. 講座名	多文化共生考
2. 分類	総合選択科目　多文化共生系列
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：20　　必要出席回数：6　　スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：4　　必要合格回数：4
6. 目標	① 異文化理解を深めることで視野を広げ、自分の価値観や考え方を相対化し、テーマについて多角的に思索することができる。 ② テーマについて批判的に考え、問題解決や課題達成のために、公正な姿勢で他者と協働することができる。
7. 活動内容	外国にルーツを持つ生徒や留学生と、身の回りのことや社会的テーマなどについて対話をする。また、留学生に日本に対する思いや将来の夢などについてインタビューをする。その対話やインタビューを振り返り、気づいたこと、感じたことなどをグループで共有することを通して、異なる価値観や考え方を認識し、一方で自分の価値観や考え方を客観的に捉える。テーマについての話し合いでは、グループで最終的に結論を出すよう協働する。
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	スクーリングで配布されたプリント

スクーリング回数	授業内容	レポート
第1・2回	自己紹介（私の大切なもの）	
第3・4回	ダイヤモンドランキング	
第5・6回	ゲーム「バフォバファ」	レポート①
第7・8回	留学生との交流①（好きなものについて話そう！）	
第9・10回	テーマ「いじめはなぜ起こるか」について話そう	レポート②
第11・12回	テーマ「女性専用車両は必要か」について話そう	
第13・14回	留学生との交流②（インタビュー「〇〇さんと日本」）	レポート③
第15・16回	インタビューの発表	
第17・18回	テーマ「素敵な恋愛をするために必要な力とは？」について話そう	レポート④
第19・20回	振り返り会（パーティー）	

スポーツⅡ

1. 講座名	スポーツⅡ
2. 分類	ウエルネス系列
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：20時間　必要出席回数：10時間 スクーリング代替課題：—時間（—枚）
5. レポート	総回数：　2回　必要合格回数：2回
6. 目標	・他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現できるようになる ・危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができるようになる ・体力や技能の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できるようになる
7. 活動内容	第1回：レポート、アイスブレイクを行い、各自のスポーツ種目への意識等を確認し、興味・関心を深める 第2回：ネット型種目　バレーボール バレーボールを行い、チームで協力して物事に取り組む力を身につける 第3回：ネット型種目　バレーボール 様々な戦略や工夫を講じて、勝利に向けての戦略を立てれるようになる 第4回：ネット型種目　バドミントン バドミントンの特性を理解し、シングルス・ダブルスでの違いを考える 第5回：ネット型種目　卓球 卓球の特性を理解し、道具を用いた種目の戦略を考える 第6回：ゴール型種目　バスケットボール ドリブルなどの基礎動作から、対人プレイ・パス等の戦術を考える 第7回：　ゴール型種目　フットサル 足を使いボールをコントロールするスキルを身につけ、相手の裏を突くプレイを考え、実践してみる 第8回・9回：ターゲット型種目　グラウンドゴルフ 普段行うことのない種目を体験し、種目の特性を理解しながら戦略を考えたり、コミュニケーションを図る 第10回：レポート、振り返りを実施。 各自が得た経験や知識等を共有し、各種目の有り方等を考える時間を持つ
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	

スクーリング計画	
第１回 ①②（座学）	レポート・アイスブレイク
第２回 ③④（実技）	ネット型種目（バレーボール） □個人のスキル向上を目的として、パスの精度向上を目指す
第３回 ⑤⑥（実技）	ネット型種目（バレーボール） □ゲームを通じて、チームワークの形成、協調性の育成を目指す
第４回 ⑦⑧（実技）	ネット型種目（バドミントン） □シャトルの打ち分けや相手を欺き、ポイントを取るための戦術を学ぶ
第５回 ⑨⑩（実技）	ネット型種目（卓球） □打ち方やルールなどを試合を通じて学びを深める
第６回 ⑪⑫（実技）	ゴール型種目（バスケットボール） □ドリブルやパスワークなどの個人スキルや、チームでのコミュニケーションからお互いをカバーしあうなどの動きを身につける事を目標とする
第７回 ⑬⑭（実技）	ゴール型種目（フットサル） □ドリブルなどの個人スキルを身につけ、ゲーム内で個々が役割等を理解しながら、勝敗が競いあえるようになることを目標とする
第８回 ⑮⑯（実技）	球技型種目（グラウンドゴルフ） 種目に関する基本的な知識の習得と道具の使い方について学ぶ
第９回 ⑰⑱（実技）	球技型種目（グラウンドゴルフ） 打球のコントロールを行い、思ったところに打ち、他者と勝敗を競い合うことを目標とする
第８回 ⑲⑳（座学）	レポート・振り返り 実技での経験を振り返り、各種目での実施上や指導を行う上での注意点などを考え、意見などを共有する時間を持つ

文書作成

1. 講座名	文書作成
2. 分類	総合選択科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：6　　スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：5　　必要合格回数：5
6. 目標	パソコンを用いたさまざまな文書作りを目的とします。講座内容は文書の入力と書式の設定、グラフィックの挿入などです
7. 学習内容	・書式設定を踏まえたうえで、文章の入力練習をおこなう。 ・ビジネス文書を作成・編集し、クリップアートやワードアートの機能についても学ぶ。 ・図形描画やドロップキャップの機能を活用する。
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	実教出版　30時間でマスター　Word2013

スクーリング計画		レポート	
回	学　習　内　容	回	課題内容
①	日本語入力システムと書式設定	①	P.122－123
②	文章の入力と書式設定	②	P.148－149
③	ビジネス文書（編集機能）	③	P.154－159
④	ｲﾗｽﾄ入り文書の作成（ｸﾘｯﾌﾟ・ﾜｰﾄﾞｱｰﾄ）		
⑤	案内状の作成（図形描画機能）	④	P.160、P.176
⑥	新聞作成（段組み・ドロップキャップ）	⑤	P.181、P.191
⑦	復習と演習（1）		
⑧	復習と演習（2）		

ESL

1. 講座名	ESL
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	1 単位
4. スクーリング	総回数： 20　　必要出席回数： 4　　スクーリング代替課題：2
5. レポート	総回数： 3　　必要合格回数： 3
6. 目標	日常生活、興味関心があること、身近な社会的テーマについて、自分の経験や意見を会話の中で伝えたり、発表したりすることができる。
7. 活動内容	身近なテーマについて、会話やロールプレイなどを行う。短い作文、発表なども行う。
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	Connect 1

スクーリング回数	授業内容	レポート 提出期限
第 1 回 4/21（木）	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明	
第 2 回　4/26（火）	Around School	
第 3 回 4/28（木）	Mini Review & Report	
第 4 回 5/10（火）	School Subjects	Report Due 5/10
第 5 回 5/12（木）	Spring Day	
第 6 回 5/17（火）	Get connected & Report	
第 7 回 5/24（火）	People and Countries	Report Due 5/24
第 8 回 5/26（木）	Nationalities	
第 9 回 5/31（火）	Mini Review & Report	
第 10 回 6/2（木）	Holidays	Report Due 6/2
第 11 回 6/7（火）	Important Days	
第 12 回 6/9（木）	Get Connected	

ベーシック演習（英語Ⅰ）

1. 講座名	ベーシック演習（英語Ⅰ）
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	1 単位
4. スクーリング	総回数： 30　　必要出席回数： 4
5. レポート	総回数： 3　　必要合格回数： 3
6. 目標	①中学校1年生からの学びなおしを英語を使ったクラスワークや問題演習を通して進めてくことができる。 ②身近な話題や関心のあるものについてを英語で表現することができる。 ③異文化について興味をもち、理解しようとする気持ちを養う。
7. 活動内容	中学校の学びなおしを行う。 講義や問題演習だけでなく、クラスワークやペアワークなど 実践的なものを取り入れていく。 また英作文(自由記述)にもチャレンジしてもらう。
8. 評価方法	①知識・技能 ・レポート（30%）とテスト（70%） 語彙や文型の問題 ②思考・判断・表現 ・レポート（70%）とテスト（30%） 読解、作文、会話の問題 ③　主体的に学習に取り組む態度 レポートの「振り返り」部分（34%）とスクーリング出席とレポート合格（66%）
9. 教材	自主教材

スクーリング回数	授業内容	レポート
第１回	オリエンテーション・クラスワーク（ペアワーク）	レポート①
第２回	be 動詞①	レポート①
第３回	be 動詞②	レポート①
第４回	コミュニケーションのワーク（自己紹介など）	レポート①
第５回	一般動詞①	レポート②
第６回	一般動詞②	レポート②
第７回	一般動詞③	レポート②
第８回	英語を使ったゲーム	レポート②
第９回	一般動詞（三単現）①	レポート②
第１０回	一般動詞（三単現）②	レポート②
第１１回	一般動詞（三単現）③	レポート③
第１２回	英語を使ったクラスワーク	レポート②
第１３回	単語テスト日（名詞）	レポート②
第１４回	単語テスト（動詞）	レポート②
第１５回	前半のふりかえり	レポート①②
第１６回	英語を使ったペアワーク	レポート③
第１７回	形容詞①	レポート③
第１８回	形容詞②	レポート③
第１９回	副詞①	レポート③
第２０回	副詞②	レポート③
第２１回	形容詞、副詞を使ったクラスワーク	レポート③
第２２回	疑問詞①	レポート③
第２３回	疑問詞②	レポート③
第２４回	疑問詞を使ったゲーム①	レポート③
第２５回	疑問詞③	レポート③
第２６回	疑問詞④	レポート③
第２７回	疑問詞を使ったゲーム②	レポート③
第２８回	英作文練習①	レポート③
第２９回	英作文練習②	レポート③
第３０回	まとめ	レポート①②③

ベーシック演習（数学）

1. 講座名	ベーシック演習（数学）
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：20　必要出席回数：８
5. レポート	総回数：６　必要合格回数：６
6. 目標	[知識・技能] ・整数，分数，小数，倍数，約数など，数についての基礎的な概念や原理・法則などを理解することができる。 ・正の数と負の数，文字を用いた式，一元一次方程式，連立二元一次方程式，一次関数，・数の平方根，多項式と二次方程式，図形の相似，三平方の定理，関数 $y=ax^2$ などに基礎的な概念や原理・法則などを理解することができる。 [思考力・判断力・表現力] ・数の範囲を拡張し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりすることができる。 ・数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし，その特徴を表，式，グラフなど で考察することができる。 ・図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 [主体性] ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとしたり，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりすることが できる。
7. 活動内容	・数について理解を深めるところから復習する。 ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	新数学Ⅰ入門（NHK 出版）

スクーリング計画	
第１回 第２回 第３回	**レポート①　整数・分数** 整数の性質，整数の四則計算，分数の性質，約分，分数の四則計算，公倍数，公約数，
第４回 第５回 第６回	**レポート②　正負の数・文字式** 正負の数の性質，絶対値，正負の数の四則計算，文字式の表し方，文字式の計算
第７回 第８回 第９回 第１０回	**レポート③　式の計算・乗法公式・因数分解・１次方程式** 分配法則，式の展開，因数分解，等式，１次方程式
第１１回 第１２回 第１３回	**レポート④　連立方程式・平方根** 連立方程式（加減法・代入法），平方根の定義，平方根の計算
第１４回 第１５回 第１６回 第１７回	**レポート⑤　２次方程式・１次関数・２次関数** ２次方程式の解き方，関数とは，１次関数，２次関数（$y=a^2$ のグラフ）
第１８回 第１９回 第２０回	**レポート⑥　相似・三平方の定理** 相似な図形，三角形の相似条件，相似な図形の性質，三平方の定理，

日本語

1. 講座名	日本語
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 20　　必要出席回数： 8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	① 日常生活、興味関心があること、身近な社会的テーマについて、ある程度の長さの文章を読んで理解することができる。 ② 日常生活、興味関心があること、身近な社会的テーマについて、自分の経験や意見を会話の中で伝えたり、発表したりすることができる。 ③小学校高学年から中学校の教科内容について概要や要点を理解し、キーワードを用いて概念や意味などを説明することができる。
7. 活動内容	初めにお互いを知り慣れるためにクラス内で自己紹介やゲームなどを行う。日本語初級後半から中級の教材等を使って、教科や日本文化、社会事情などをテーマに文章を読んだり、自分の経験や意見を話したり、作文を書いたりする。グループ活動やペア活動も行う。漢字は定期的に小テストを行い、定着を図る。
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	プリント

スクーリング回数	授業内容
第１回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明
第２回	交流活動・クイズに挑戦！
第３回	【食べ物】① 言葉と漢字を覚えよう ※ レポート1を配付
第４回	【食べ物】② 文章を読んでみよう ※ レポート1（つづき）を使用
第５回	【食べ物】③ わたしの意見 ※ レポート2を配付
第６回	【食べ物】④ 確認しよう ※ レポート2（つづき）を使用
第７回	【趣味】① 言葉と漢字を覚えよう ※ レポート３を配付
第８回	【趣味】② 文章を読んでみよう ※ レポート３（つづき）を使用
第９回	【趣味】③ わたしの意見 ※ レポート４を配付
第10回	【食べ物】④ 確認しよう ※ レポート４（つづき）を使用
第11回	【病気】① 言葉と漢字を覚えよう ※ レポート５を配付
第12回	【病気】② 文章を読んでみよう ※ レポート５（つづき）を使用
第13回	【病気】③ わたしの意見 ※ レポート６を配付
第14回	【食べ物】④ 確認しよう ※ レポート６（つづき）を使用
第15回	【仕事】① 言葉と漢字を覚えよう ※ プリント１を配付
第16回	【仕事】② 文章を読んでみよう ※ プリント１（つづき）を使用
第17回	【仕事】③ わたしの意見 ※ プリント2を配付
第18回	【仕事】④ 確認しよう ※ プリント2（つづき）を使用
第19回	復習①
第20回	復習②

日本語演習

1. 講座名	日本語演習
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 20　　必要出席回数： 8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	① 特定の場面において重要な決まり事や習慣、文化の違いを理解する。 ② それらの違いを理解しながら、特定の場面において問題解決や課題達成ができるようになる。 ③ 身近なテーマにおける自己表現や意見のやりとりを通して、自分の価値観に気付きアイデンティティを構築する。
7. 活動内容	日常生活や学校生活において「困る」場面で、相手の立場や意思を尊重しながら、自分も目的を達成するために、どのような順序で、どのように会話を展開すればよいのか、様々な可能性を教師やクラスメートとともに対話を通して考える。また、身近なテーマで自分の気持ちや価値観を表現する活動も行う。身近な人にインタビューをする練習もする。
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	プリント

スクーリング回数	授業内容
第１回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明
第２回	【話してみよう】① ※レポート1を配付
第３回	【表現の仕方】文体の違い①
第４回	【話してみよう】②
第５回	【表現の仕方】文体の違い② ※レポート2を配付
第６回	【話してみよう】③
第７回	【話してみよう】④
第８回	【表現の仕方】文体の違い③ ※レポート3を配付
第９回	【話してみよう】⑤ ※レポート4を配付
第10回	【表現の仕方】話し言葉と書き言葉①
第11回	【話してみよう】⑥
第12回	【表現の仕方】話し言葉と書き言葉② ※レポート5を配付
第13回	【話してみよう】⑦ ※レポート6を配付
第14回	【表現の仕方】話し言葉と書き言葉③
第15回	【話してみよう】⑧
第16回	【表現の仕方】話し言葉と書き言葉④
第17回	【話してみよう】⑨
第18回	【表現の仕方】文のつながり
第19回	【話してみよう】復習
第20回	【表現の仕方】復習

総合的な探究の時間

1. 講座名	命の尊さについて
2. 分類	必修科目
3. 単位数	1単位
4. スクーリング	総回数： 4　必要出席回数： 4
5. レポート	総回数： 2　必要合格回数： 2
6. 目標	自尊感情を適度に持つことを念頭に、自分自身のアイデンティティーについて考える。また、これから社会に出ていくにあたって知っておくべき現代社会の課題について考える。
7. 活動内容	・現代社会の課題と高校生が置かれている状況を知る ・自分自身を客観視する材料としてエゴグラムに取り組む ・自分の今までを振り返り、これからについて考えるために、自分史を作成する
8. 評価方法	・レポート（100%）
9. 教材	プリント教材

スクーリング計画	
第 1 回	現代社会の課題と若者を取り巻く環境　レポート①
第 2 回	現代社会の課題と若者を取り巻く環境　レポート①
第 3 回	自尊感情とアイデンティティー　レポート②
第 4 回	自尊感情とアイデンティティー　レポート②

②平成 25 年度以降入学生徒対応カリキュラム

国語総合

1. 講座名	国語総合
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8　　必要出席回数： 2　　スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	（1）国語で伝え合う力を高め、言語文化に対する関心を深める力を養う。 （2）文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させることができる。 （3）相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ深めることができる。 （4）目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりして，自分の考えをまとめ深めることができる。
7. 活動内容	・文章を通読し（黙読・音読）、内容を把握する。 ・文章の種類・内容・構成・論理の展開などを把握しながら文章を読み、要点をつかむ。 ・作品や文章に表れているものの見方・感じ方・考え方を捉え、内容を解釈する。 ・文章中に用いられている漢字の読み書きができ、それらの漢字を使って文章を書く。 ・文章中に用いられている語句の意味を調べ、理解し、それらの語句を使って文章を書く。 ・指示語・接続語の意味や役割を理解し、それらを使って文章を書く。 ・古文と現代文の違いについて確認する。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）
9. 教材	「新編　国語総合」（東京書籍）「新編　国語総合　学習書」（NHK 出版）

スクーリング計画	
第 1 回	ルリボシカミキリの青（現代文/随筆）　レポート①
第 2 回	とんかつ（現代文/小説）　レポート②
第 3 回	未来をつくる想像力（現代文/評論）　レポート③
第 4 回	りんごのほっぺ（随筆）（現代文/随筆）　レポート④
第 5 回	りんごのほっぺ（現代文/随筆）　レポート④
第 6 回	古文に親しむ、亀山殿の御池に（古文/古文の基礎、随筆）　レポート⑤
第 7 回	うつくしきもの、筒井筒（古文/随筆、物語）　レポート⑥
第 8 回	うつくしきもの、筒井筒（古文/随筆、物語）　レポート⑥ ※テスト対策

国語表現

1. 講座名	国語表現
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8　　必要出席回数： 2　　スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	（1）国語で、適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 （2）思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現する力を養う。 （3）国語の向上や社会生活の充実を図る態度を養う。
7. 活動内容	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになる。 ・文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。 ・目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して話したり書いたりする。 ・自分の考えをもって論理的に意見を述べたり、相手の考えを尊重して話し合ったりする。 ・情報を収集、整理し、正確かつ簡潔に伝える文章（説明文や意見文など）にまとめる。 ・古典の表現法、語句、語彙などを理解する。
8. 評価方法	筆記式テスト 100%
9. 教材	「国語表現」（東京書籍）

スクーリング計画	
第 1 回	調べる、「本にあたる」　レポート①
第 2 回	取材する、「医療という現場」　レポート②
第 3 回	説明する、「一人で対する未知の世界」　レポート③
第 4 回	ワーク『本のおもしろさを紹介してみよう』
第 5 回	まとめる、「伝える力」　レポート④
第 6 回	古典の表現に学ぶ、「『枕草子』に参加してみる」　レポート⑤
第 7 回	ワーク『古典の表現を学習しよう/ことわざを調べてみよう』
第 8 回	「広告とレトリック」、同音異義語・同訓異義語　レポート⑥ ※テスト対策

現代文 B

1. 講座名	現代文 B
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数： 8　　必要出席回数： 2　　スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	（1）近代以降の様々な文章を的確に理解することができる。 （2）適切に表現する能力を高めるとともにものの見方、感じ方、考え方を深める力を養う。 （3）進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
7. 活動内容	・近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて広く読んだりする（黙読・音読）。 ・文章の種類・内容・構成・論理の展開などを把握しながら文章を読み、要点をつかむ。また、自分の考えをまとめ、深める。 ・文章中で用いられている漢字の読み書きができ、それらの漢字を使って目的・意図に応じた適切な文章を書く。 ・文章中で用いられている語句の意味を調べ理解し、それらの語句を使って目的・意図に応じた適切な文章を書く。 ・指示語・接続語の意味や役割を理解し、それらの語句を使って目的・意図に応じた文章を書く。
8. 評価方法	筆記式テスト 100%
9. 教材	「新編　現代文」（東京書籍）

スクーリング計画	
第 1 回	ナイン（1）　レポート①
第 2 回	ナイン（2）　レポート②
第 3 回	ふしぎということ　レポート③
第 4 回	ふしぎということ　レポート③
第 5 回	I was born　レポート④
第 6 回	山椒魚　レポート⑤
第 7 回	山椒魚　レポート⑤
第 8 回	安心について　レポート⑥ ※テスト対策

世界史Ａ

1. 講座名	世界史Ａ
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：2　　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6　　必要合格回数：6
6. 目標	① 近現代史を中心とする世界の歴史について理解する。 ② 諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、現代のグローバル社会における諸課題を歴史的観点から学び、考察する。 ③ 世界で起こる諸課題の問題を知り、その課題解決に向けて、グローバル社会で主体的に生きるための自覚と資質を養う。
7. 活動内容	古代～現代に至るまでの世界史を学ぶ。 レポート課題では、基本的な語句（歴史事象や人物）の理解と知識の定着を行い、スクーリングではそれぞれの歴史事象のつながりを流れに沿って理解する。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%） 場合に応じて平常点を加味する
9. 教材	東京書籍『世界史Ａ』

スクーリング計画		レポート
第１回	○イントロダクション ・本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 ・歴史学とは ・歴史を学ぶことの意義について ・「日本史Ａ」の時代区分について（本講座の取り扱う時代説明） 「古代アジア史」	
第２回	「古代ギリシア史・ローマ史」	レポート①
第３回	「イスラーム史・中世・近代史」	レポート②
第４回	「アメリカ独立・フランス革命など」	レポート③
第５回	「19 世紀のヨーロッパ」	レポート④
第６回	「19 世紀のアジア」	レポート⑤
第７回	「第一次世界大戦・第二次世界大戦」	レポート⑥
第８回	「冷戦、アジア・アフリカの独立」 ○まとめ・テスト対策	

日本史Ａ

1. 講座名	日本史Ａ
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：2　　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6　　必要合格回数：6
6. 目標	①近現代の歴史的事象と現在との結びつきを調べ考える活動を通して、現代社会における諸問題が歴史的に形成されたものであるということ、また歴史を学ぶ意義を学ぶ。 ②近現代の日本の歴史の展開を、年表や地図、その他の資料に基づいて学習し、流れに沿って歴史の成り立ちを学ぶ。 ③現代のグローバル社会において日本と世界の抱える諸課題について考察し、平和で民主的な国家・社会を形成するために、私たちが果たすべき役割について学ぶ。
7. 活動内容	江戸時代以降の近世・近代・現代の日本史を中心に学ぶ。レポート課題では、基本的な語句（歴史事象や人物）の理解と知識の定着を行い、スクーリングではそれぞれの歴史事象のつながりを流れに沿って理解する。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　場合に応じて平常点を加味する
9. 教材	東京書籍『日本史Ａ』

スクーリング計画		レポート
第１回	○イントロダクション ・本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 ・歴史学とは　・歴史を学ぶことの意義について 　・「日本史Ａ」の時代区分について（本講座の取り扱う時代説明） 「幕藩体制の動揺」	
第２回	「明治国家の形成」	レポート①
第３回	「日清・日露戦争」	レポート②
第４回	「大正デモクラシー」	レポート③
第５回	「世界恐慌からファシズムへ」	レポート④
第６回	「満州事変・太平洋戦争」	レポート⑤
第７回	「戦後改革」	レポート⑥
第８回	「現代の日本」○まとめ・テスト対策	

地理 A

1. 講座名	地理 A
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：2　　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6　　必要合格回数：6
6. 目標	①現在地球上で起こっている様々な問題を考えるにあたって必要な知識を身に付けるとともに、地図や資料を読み取る力を養う。 ②地球上の様々な問題が起きる原因や過程を考察し、自分の考えを述べることができるようにする。
7. 活動内容	現代世界の地域ごとの特色と動向、地域間の結びつき、さらに環境・資源・人口などの世界全体に共通する課題が地域によってどのような問題を生み出しているか、またその解決のためにどのような努力がなされているかを学ぶ。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　※場合によって平常点を加味する
9. 教材	東京書籍『地理 A』

スクーリング計画		レポート
第 1 回	○イントロダクション ・本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 ・地理を学ぶことの意義について 「現代世界の特徴と動向」	
第 2 回	「自然環境と文化、地形」	レポート①
第 3 回	「東アジア～西アジア」	レポート②
第 4 回	「ヨーロッパ～北アメリカ」	レポート③
第 5 回	「中南アメリカ～オセアニア」	レポート④
第 6 回	「深刻化する地球的課題」	レポート⑤
第 7 回	「身近な地域と地理的課題」	レポート⑥
第 8 回	○まとめ・テスト対策	

現代社会

1. 講座名	現代社会
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：2　　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6　　必要合格回数：6
6. 目標	現代の社会において課題となっている、地球環境問題、資源・エネルギー問題、科学技術の発達と生命、情報化の進展、消費者主権などを取り上げ、社会をとらえる枠組みとしての幸福、正義、公正、多様性などの視点を養う。主体性をもち社会に参画し、他者と互いの多様性を認めあい共生することができる。
7. 活動内容	市民と現代社会の関わりについて、文化や民主政治、産業社会、国民福祉、人類の諸課題の関するテーマを幅広く学ぶ。スクーリングでの問いかけやレポートの取り組みを通して、自分自身の意見を表現する時間も含む。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　※場合によって平常点を加味する
9. 教材	東京書籍『現代社会』

スクーリング計画		レポート
第１回	○イントロダクション ・本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 ・現代社会を学ぶことの意義について 「青年期と自己形成の課題（導入）」	
第２回	「青年期と自己形成の課題」	レポート①
第３回	「日本国憲法と民主政治1」	レポート②
第４回	「日本国憲法と民主政治2」 「現代社会と法」	レポート③
第５回	「現代の経済と国民福祉」	レポート④
第６回	「現代の経済と国民福祉」 「国際社会と人類の課題（導入）」	レポート⑤
第７回	「国際社会と人類の課題」	レポート⑥
第８回	まとめ・テスト対策	

政治経済

1. 講座名	政治経済
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：2　　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6　　必要合格回数：6
6. 目標	民主主義の本質について基本的な理解を深めることを通して、現代の政治、経済、市場、国際関係などに関心を持ち、世界で起きている情勢を主体的に探究・考察する態度を養う。現代社会の諸課題をより主体的に捉えるなかで、共生社会で生きる市民の一人としての公正な判断力を養う。
7. 活動内容	レポートやスクーリングを通して、民主政治およびグローバル化の中で変容する経済について基本的な理解を深めるとともに、国際社会における私たちの生活や身近な暮らしについて考える。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　※場合によって平常点を加味する
9. 教材	東京書籍『政治経済』

スクーリング計画		レポート
第１回	○イントロダクション ・本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 ・政治経済を学ぶことの意義について 「現代の政治（導入）」	
第２回	「日本国憲法」	レポート①
第３回	「国会、内閣、裁判所」	レポート②
第４回	「戦後の国際政治と諸課題」	レポート③
第５回	「資本主義経済、金融の仕組み」	レポート④
第６回	「社会保障と労働」	レポート⑤
第７回	「現代社会の諸課題」	レポート⑥
第８回	まとめ・テスト対策	

倫理

1. 講座名	倫理
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：2　　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6　　必要合格回数：6
6. 目標	青年期における自己形成の課題をはじまりとし，宗教や先哲の考え方を学びつつ，倫理的な視点や思想する姿勢を身に付ける。その学びを生かして、現代社会や自身にかかわる諸課題を主体的に解決するための思考力や態度を身に付ける。
7. 活動内容	混沌・迷走の度合いを強めていく現代にあって、先哲らが人間や社会をどのようにとらえてきたかを振り返り、その知恵を現代に生かすことを中心に世界の思想・宗教・哲学の説くところを学ぶ。レポート課題では、基本的な語句（概念や人物）の理解と知識の定着を行い、スクーリングではそれぞれの思想・宗教・哲学とそれらが生まれた歴史的背景を流れに沿って理解する。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　場合に応じて平常点を加味する
9. 教材	東京書籍『倫理』

スクーリング計画		レポート
第１回	○イントロダクション ・本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 ・倫理とは ・思想・宗教・哲学を学ぶことの意義について 「青年期の課題と自己形成（導入）」	
第２回	「青年期の課題と自己形成」 「人間としての自覚（導入）」	レポート①
第３回	「人間としての自覚」	レポート②
第４回	「国際社会に生きる日本人の自覚」	レポート③
第５回	「現代を生きる人間の倫理１」	レポート④
第６回	「現代を生きる人間の倫理2」	レポート⑤
第７回	「現代の課題を考える」	レポート⑥
第８回	まとめ・テスト対策	

数学Ⅰ㊤

1. 講座名	数学Ⅰ㊤
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：８　必要出席回数：２　　スクーリング代替課題：１
5. レポート	総回数：６　必要合格回数：６
6. 目標	[関心・意欲・態度] ・数学的活動を通して，方程式と不等式，二次関数における考え方に関心をもつことができる ・数学的な見方や考え方のよさを認識し，事象の考察に活用しようとすることができる。 [数学的な見方や考え方] ・数学的な活動を通して，方程式と不等式，二次関数における考え方を身に付け，事象を数学的にとらえることができる。 ・論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・ 発展的に考えることができる。 [表現・処理] ・方程式と不等式，二次関数において，事象を数学的に考察することができる。 ・表現し処理する仕方や，推論の方法を身に付け，的確に問題を解決することができる。 [知識・理解] ・方程式と不等式，二次関数における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを 理解し，基礎的な知識を身に付けることができる。
7. 活動内容	・「数と式」「二次関数」の2単元について学習する。 （それぞれの単元に関する中学までの振り返りも行う） ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、 教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　場合に応じて平常点を加味する
9. 教材	東京書籍 改訂 新数学Ⅰ

スクーリング計画	
第１回	レポート①　数と式 整数の四則計算，小数の計算，分数の計算，正負の数の四則計算，文字式の計算
第２回	レポート②　数と式 １次方程式，連立方程式
第３回	レポート②　数と式 2次方程式，
第４回	レポート③　数と式 数式の加減，式の展開，因数分解
第５回	レポート③④　数と式 平方根，不等式
第６回	レポート④　数と式・2次関数 関数，１次関数，2次関数，2次関数の平行移動
第７回	レポート⑤　２次関数 2次関数の平行移動，平方完成
第８回	レポート⑥　２次関数 2次関数の最大値・最小値，グラフと x 軸との共有点，２次不等式

数学Ⅰ㊦

1. 講座名	数学Ⅰ㊦
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：８　必要出席回数：２　　スクーリング代替課題：１
5. レポート	総回数：６　必要合格回数：６
6. 目標	[関心・意欲・態度] ・数学的活動を通して，図形と計量，集合と論証，データの分析における考え方に関心をもつことができる ・数学的な見方や考え方のよさを認識し，事象の考察に活用しようとすることができる。 [数学的な見方や考え方] ・数学的な活動を通して，図形と計量，集合と論証，データの分析における考え方を身に付け，事象を数学的にとらえることができる。 ・論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・ 発展的に考えることができる。 [表現・処理] ・図形と計量，集合と論証，データの分析において，事象を数学的に考察することが できる。 ・表現し処理する仕方や，推論の方法を身に付け，的確に問題を解決することができる。 [知識・理解] ・方程式と不等式，二次関数における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを 理解し，基礎的な知識を身に付けることができる。
7. 活動内容	・「図形と計量」「データの分析」の2単元について学習する。 （それぞれの単元に関する中学までの振り返りも行う） ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、 教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。 ・主体的にチャレンジ問題【Let’s challenge!】に取り組む。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　場合に応じて平常点を加味する
9. 教材	東京書籍　新数学Ⅰ 東京書籍　新数学Ⅰ（解答編）

スクーリング計画	
第１回	**レポート①　図形と計量** 三平方の定理，サイン・コサイン・タンジェント，　三角比の利用　について学習し理解を深める
第２回	**レポート②　図形と計量** 三角比の相互関係，90°−A の三角比，三角形の面積，正弦定理　について学習し理解を深める
第３回	**レポート②③　図形と計量** 余弦定理，鈍角の三角比，　について学習し理解を深める レポート②【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第４回	**レポート③　図形と計量** 三角比の相互関係，三角形の面積，余弦定理，　について学習し理解を深める レポート③【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第５回	**レポート④　データの分析と計量** 度数分布表とヒストグラム，代表値と箱ひげ図，分散と標準偏差　について学習し理解を深める
第６回	**レポート④⑤　データの分析と計量** 散布図，相関関係　について学習し理解を深める レポート⑤【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第７回	**レポート⑥　命題と論証** 集合，補集合，共通部分と和集合，命題と真・偽，否定　について学習し理解を深める
第８回	**レポート⑥　命題と論証** 必要条件，十分条件，対偶　について学習し理解を深める

数学 A

1. 講座名	数学 A
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 8　必要出席回数： 3　　スクーリング代替課題： 1
5. レポート	総回数： 6　必要合格回数： 6
6. 目標	[知識・技能] ・「場合の数と確率」「図形の性質」ついての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 [思考力・判断力・表現力] ・不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 ・図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察することができる。 [主体性] ・数学のよさを認識し数学を活用しようとすることができる。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとすることができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとすることができる。
7. 活動内容	・「場合の数と確率」「図形の性質」の2単元について学習する。 ・基礎的・基本的な知識および技能をしっかりと習得するために、教員と例題を読み解いたり、自身で問題演習行ったりする。 ・自身で振り返りを行い、レポートにまとめる。 ・主体的にチャレンジ問題【Let’s challenge!】に取り組む。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　場合に応じて平常点を加味する
9. 教材	東京書籍　新数学A 東京書籍　新数学A（解答編）

スクーリング計画	
第１回	**レポート①　場合の数と確率** 集合の理解，共通部分と和集合，集合の要素の個数，和の法則順列、組合せ　について学習し理解を深める
第２回	**レポート①②　場合の数と確率** 和の法則順列、組合せ　/　試行の確率を求める，確率の計算　について学習し理解を深める レポート①【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第３回	**レポート②③　場合の数と確率** 排反事象の確率，余事象の確率　/　独立な試行の確率の計算　について学習し理解を深める レポート②【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第４回	**レポート　③　場合の数と確率** 反復試行の確率，積事象の確率，　期待値　について学習し理解を深める レポート③【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第５回	**レポート④　図形の性質** 角の表し方，対頂角の性質，三角形の内角と外角の性質，三角形の合同と相似の表し方と活用 について学習し理解を深める
第６回	**レポート④⑤　図形の性質** 三角形と比の性質，中点連結定理の利用　について学習し理解を深める レポート④【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)
第７回	**レポート⑤⑥　図形の性質** 三角形の重心を求める，三角形の重心の性質/三角形の外心の性質　について学習し理解を深める
第８回	**レポート⑥　図形の性質** 三角形の内心の性質，角の二等分線と線分の比　について学習し理解を深める レポート⑥【Let’s challenge!】(主体的に学ぶための課題)

科学と人間生活

1. 講座名	科学と人間生活
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 8　必要出席回数：　8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　必要合格回数：　6
6. 目標	【知技】 ・視覚，血糖濃度の調節，免疫，遺伝子のはたらきについて，人間生活と関連付けて理解している。 ・金属やプラスチックの種類，性質および用途と資源の再利用について，人間生活と関連付けて理解している。 ・光の進み方とその基本的な性質，目に見える光と色の見え方，目に見えない光とその利用について，人間生活と関連付けて理解している。 ・太陽と月，地球の運動と潮汐との関係，太陽の放射エネルギーが大気や海洋におよぼす影響について，人間生活と関連付けて理解している。 【思考】 ・一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のグラフを読み取り，科学的に考察して，免疫記憶の利点を見いだし，　表現している。 ・スチール缶やアルミニウム缶の再生利用の利点について，資料などを基に科学的に考察して見いだし，表現している。 ・生活経験を基に，水底が浅く見える現象などに着目し，物質の境界面での光の進み方や偏光板の性質を理解し，表現している。 ・既習の内容や生活経験を基に，太陽の放射エネルギーに着目し，太陽の放射エネルギーと大気や気候とのかかわりに問題を見いだし，表現している。 【態度】 ・学んだことを生かして，転写と翻訳を経て体内でタンパク質がつくられる過程（セントラルドグマ）について，自らの言葉で表現しようとしている。 ・資料などを調べたり，対話したりしながら，プラスチックやその再生利用と人間生活とのかかわりについて多面的に考えようとしている。 ・偏光板を通して，繰り返しいろいろなものを見て調べたり，対話したりしながら，光の波としての性質を見いだそうとしている。 ・学んだことを生かして，地球の自転や公転と月の公転によりどのように日，月，年がつくられるか，自分なりの図や言葉で表現しようとしている。
7. 活動内容	授業で学んだことや関心のあることについて表現したり、身近な科学現象について調べたりして、科学と私たちの生活のかかわりを探求する。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　場合に応じて平常点を加味する・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	東京書籍：科学と人間生活

スクーリング計画	
第１回	レポート①「ヒトの生命現象」１ 分野「視覚，血糖濃度の調節」の解説
第２回	レポート②「ヒトの生命現象」２ 分野「免疫・セントラルドグマ」の解説
第３回	レポート③「材料とその再利用」分野「金属の性質用途、再生」の解説
第４回	レポート③「材料とその再利用」分野「プラスチックの性質、種類、再生」の解説
第５回	レポート④「光の性質とその利用」１ 分野「光の進み方と基本性質、全反射など生活の中での光の性質」の解説
第６回	レポート⑤「光の性質とその利用」２ 分野「目に見えない光・電磁波とその応用」の解説
第７回	レポート⑥「太陽と地球」分野「太陽の性質とその動き・放射エネルギー」の解説
第８回	レポート⑥ 「太陽と地球」分野「太陽・月・地球の関係、どのように日・月・年が刻まれるか」の解説

生物基礎

1. 講座名	生物基礎
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 8　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　必要合格回数： 6
6. 目標	【知技】 ・生物の特徴について，生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解している ・遺伝子とその働きについて，遺伝情報と DNA の基本的な概念や原理・法則などとタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な知識を身につけている。 ・神経系と内分泌系による調節について，情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・免疫について，免疫の働きの基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・植生と遷移について，植生と遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・生態系とその保全について，生態系と生物の多様性，ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考】 ・生物の共通性と多様性・生物とエネルギーについて，問題を見いだし見通しをもって科学的に探究している。 ・遺伝情報と DNA・タンパク質の合成について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 ・情報の伝達について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 ・植生と遷移について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 ・生態系と生物の多様性，ならびに生態系のバランスと保全について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【態度】 ・生物の共通性と多様性・生物とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもった発言をするなど，科学的に探究しようとしている。 ・遺伝情報と DNA・タンパク質の合成に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもった発言をするなど，科学的に探究しようとしている。 ・情報の伝達に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもった発言をするなど，科学的に探究しようとしている。 ・免疫の働きについて，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 ・免疫の働きに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもった発言をするなど，

	科学的に探究しようとしている。 ・植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもった発言をするなど，科学的に探究しようとしている。 ・生態系と生物の多様性，ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもった発言をするなど，科学的に探究しようとしている。
7. 活動内容	生物や生物現象について理解するとともに，授業で学んだことや関心のあることについて表現する。生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。
8. 評価方法	①知識・技能 ・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現 ・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	東京書籍：新編生物基礎

スクーリング計画	
第１回	生物の多様性と共通性の原理原則・細胞の特徴などを学び、考察できる力をつける（レポート No.1）
第２回	生物とエネルギーについての原理・事象などについて学び、自ら考察できる力をつける（レポート No.1）
第３回	遺伝情報と DNA について基本的な概念とその構造、機能を学び、その原理を身につけて自ら考察できる力をつける（レポート No.2）
第４回	遺伝情報とタンパク質合成についてセントラルドグマと細胞の分化について学び、自ら考察できる力をつける（レポート No.2）
第５回	神経系と内分泌系による調節について，基本的な概念や原理・法則などを学び、自ら考察できる力をつける（レポート No.3）
第６回	免疫について学び、基本的な概念や原理・法則などを学ぶとともに、自ら考察できる力をつける（レポート No.4）
第７回	植生と遷移について学び、自ら考察できる力をつける（レポート No.5）
第８回	生態系とその保全について学び、自ら考察できる力をつける（レポート No.6）

地学基礎

1. 講座名	地学基礎
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 8 必要出席回数： 8　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　必要合格回数： 6
6. 目標	【知技】 ・惑星としての地球・活動する地球，地球の形と大きさ，地球内部の層構造，プレートの運動について理解している。 ・大気と海洋・大気と海水の運動について理解し，地球の熱収支について理解している。 ・宇宙、太陽系と地球の誕生について理解している ・地球の変遷についての授業を通して，気候や地形生物とのかかわりについて理解している ・日本の自然環境についての授業を通して，地形の特徴を理解している ・地球環境の科学についての授業を通して，地球全体として人間の活動が環境に影響を及ぼすことについて理解している 【思考】 ・惑星としての地球・活動する地球について，問題を見いだし，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 ・大気と海洋，地球の熱収支について，問題を見いだし見通しをもって、科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 ・宇宙，太陽系と地球の誕生、地球の変遷について，問題を見いだし見通しをもって，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 ・地球の変遷についての授業を通して，宇宙，太陽系と地球の誕生について，問題を見いだし見通しをもって，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 ・日本の自然環境について，問題を見いだし見通しをもって科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 ・地球環境の科学について，問題を見いだしその仕組みを科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【態度】 ・惑星としての地球・活動する地球について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 ・大気と海洋，地球の熱収支について主体的に関わり，見通しをもって，科学的に探究しようとしている。 ・宇宙，太陽系と地球の誕生、地球の変遷について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 ・地球の変遷についての授業を通して，主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

	・日本の自然環境について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 ・地球環境の科学について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
7. 活動内容	日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境や宇宙について理解するとともに，科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。
8. 評価方法	①知識・技能 ・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現 ・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度 ・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	東京書籍：地学基礎

スクーリング計画	
第１回	惑星としての地球・活動する地球，地球の形と大きさ，地球内部の層構造，プレートの運動などを学び、考察できる力をつける（レポート No.1）
第２回	大気と海洋，地球の熱収支について主体的に関わり，見通しをもって，科学的に探究させる（レポート No.2）
第３回	大気の大循環・海水の運動などを学び、主体的なかかわりを持って科学的に探求できるようにする（レポート No.2）
第４回	宇宙の誕生と地球の誕生・その特徴を学び、主体的なかかわりを持って科学的な探求を行う（レポート No.3）
第５回	（レポートNo.4）地層をもとにした地球の変遷について学び、主体的にかかわりを持って科学的な探求を行う
第６回	（レポート No.4）地球史を学び、主体的にかかわりを持って科学的な探求を行う
第７回	（レポート No.5）日本の自然環境について学び、主体的にかかわりを持って科学的な探求を行う
第８回	（レポート No.6）地球環境の考え方、自然環境の変化などを学び、主体的・科学的な探求を行う

体育α

1. 講座名	体育α
2. 分類	必修科目
3. 単位数	3
4. スクーリング	総回数： 16　　必要出席回数： 15　　スクーリング代替課題： 9
5. レポート	総回数：　3　必要合格回数：3
6. 目標	（1）運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 （2）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 （3）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
7. 活動内容	第1回：レポートに取り組み、バレーボールへの興味・関心を深める 第2回：バレーボールを用いて、アンダーハンドパス・オーバーハンドパスなどの基本的な動作・スキルを身につける 第3回：アンダーハンドパス・オーバーハンドパスで相手やチームメートにパスをするスキルを身につけ、自分の思い通りのボールコントロールなどが出来るように学ぶ 第4回：レポートに取り組み、運動に必要なトレーニングの知識、動きのメカニズムを学ぶ 第5回：3～4 名でのパス回しなど、コミュニケーションをとりながらチームで協力し、目標への取り組みを目指す 第6回：ローテーションやサービスなどの実際の試合で必要とされる知識・スキルを身につけていきながら、仲間との連携を深める 第7回：試合を通し、各ポジションでの動きを身につけ、ゲーム感覚を養う 第8回：レポートに取り組み、実技授業での振り返りを行う。運動、スポーツ時におけるケガや事故についてのリスクを考え、対策などを学ぶ
8. 評価方法	レポート・スクーリング及びテスト、平常点で評価します。
9. 教材	現代高等保健体育（大修館書店） ステップアップスポーツ

スクーリング計画	
第１回 ①②（座学）	スポーツにおける技術と戦術・技能の上達過程と練習
第２回 ③④（実技）	バレーボール □ボールを使い、身体の動かし方やそれぞれの現状でのスキルを確認し、 個人に応じた目標設定ができるようにする
第３回 ⑤⑥（実技）	バレーボール □ボールを用いて、バレーボールの基本動作を習得し、 状況に応じたボール操作が出来るようになることを目標とする
第４回 ⑦⑧（座学）	効果的な動きのメカニズム・体力トレーニング
第５回 ⑨⑩（実技）	バレーボール □複数人でのラリーからボールをつなぐために必要な動作や留意点を考え、 ゲームへの導入が出来るように、仲間との協調を育むことを目標とする
第６回 ⑪⑫（実技）	バレーボール □ゲームを行う上で必要なローテーションの動きやチームでの連携などを 図り、チームでのコミュニケーションからお互いをカバーしあうなどの動きを身につける事を目標とする
第７回 ⑬⑭（実技）	バレーボール □実際の試合を通し、ゲームに必要な動き・知識を身につけ、 各ポジションでの必要に応じたプレイを行い、勝敗が競いあえるようになることを目標とする
第８回 ⑮⑯（座学）	運動やスポーツでの安全の確保

体育ｂ

1. 講座名	体育ｂ
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 10　　必要出席回数：　10　スクーリング代替課題： 6
5. レポート	総回数： 2　　必要合格回数：2
6. 目標	・運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる ・自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てることができる ・公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てることができる
7. 活動内容	実技形式 個人でのスキル（技術）練習 ペアでのラリーやパス練習 試合形式（簡易ゲームなど）
8. 評価方法	レポート・スクーリング及びテスト、平常点から評価します。
9. 教材	大修館　現代高等保健体育 大修館　ステップアップ高校スポーツ

スクーリング計画	
第１回	オリエンテーション、レポート①②作成
第２回	実技①バドミントン（ラケット・シャトル慣れ、ラリー） バスケットボール（ボール慣れ、パス、ドリブル、シュート）
第３回	実技②バドミントン（ラリー、サーブ、簡易ゲーム） バスケットボール（シュート、ペアでのシュート、）
第４回	実技③バドミントン（簡易ゲーム） バスケットボール（試合）
第５回	レポート①②完成、振り返り

体育c

1. 講座名	体育c
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 10　　必要出席回数：　10　スクーリング代替課題： 6
5. レポート	総回数： 2　　必要合格回数：2
6. 目標	・運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の 楽しさや喜びを深く味わうことができる ・自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てることができる ・公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てることができる
7. 活動内容	実技形式 個人でのスキル（技術）練習 ペアでのラリーやパス練習 試合形式（簡易ゲームなど）
8. 評価方法	レポート・スクーリング及びテスト、平常点から評価する
9. 教材	大修館　現代高等保健体育 大修館　ステップアップ高校スポーツ

スクーリング計画	
第１回	オリエンテーション、レポート①②作成
第２回	実技①卓球（ラケット・ボール慣れ、ラリー） テニス（ラケット・ボール慣れ、ラリー）
第３回	実技②卓球（ラリー、サーブ、簡易ゲーム） テニス（ラリー、壁打ち）
第４回	実技③卓球（簡易ゲーム） テニス（簡易ゲーム）
第５回	レポート①②完成、振り返り

保健

1. 講座名	保健
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：2　　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：6　　必要合格回数：6
6. 目標	○現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じての健康、健康のための社会づくりの4つの分野について知識として取り入れることができる。 ○健康づくりに関しての知識、要因を理解したうえで、現代社会での問題に対して気づき、判断して、自らがどのように行動するかを考える、説明できるようにする。 ○現代社会における現状と課題に対して主体的に参加するための資質・能力持つことができる。
7. 学習内容	○教科書に書いてある語句や考え方、要因を理解し、自分なりに適切に判断して表現できるようにレポートに取り組む。 ○現代社会における問題、自らを取り巻く環境を理解し、変化に対応できる知識を身に着ける。 ○心肺蘇生法、性教育など生涯にわたって必要となる知識、スキルを身に着ける。
8. 評価方法	○レポート、スクーリングとテストで評価し、各評価項目は以下の方法に従って行う。 ○健康に関する基礎的な知識や活用は、レポートとテストによって評価する。 ○学習内容から学んだ知識を適切に判断して説明できているかは、レポートおよび提出課題やテストによって評価する。 ○現代の健康に関してはそれを取り巻く環境、自分自身の問題の発見・解決に向けて自分のこととして考えそして、自ら評価し改善しようとしている姿勢は、レポート、提出物の内容、スクーリング出席回数で評価する。
9. 教材	大修館　現代高等保健体育

スクーリング計画	
第１回	【現代社会と健康】健康の考え方と成り立ち、生活習慣病の予防と回復、がんの原因・予防・治療と回復 ※教科書 p6～p16
第２回	【現代社会と健康】〇運動、食事、休養・睡眠と健康喫煙、薬物乱用と健康、精神疾患の特徴・予防・回復 ※教科書 p20～p40
第３回	【現代社会と健康】 〇現代の感染症と予防、性感染症・エイズとその予防　※教科書 p28～p51
第４回	【安全な社会生活】 〇事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通における安全、応急手当の意義と その基本、日常的な応急手当、心肺蘇生法 ※教科書 p60～p72
第５回	【生涯を通じる健康】 〇思春期と健康、性意識と性行動の選択、妊娠・出産と健康、 避妊法と人工妊娠中絶 ※教科書 p76～p84
第６回	【生涯を通じる健康】 〇結婚生活、中高年期と健康、働くことと健康、労働災害と健康、健康的な職業生活 ※教科書 p88～p96
第７回	【健康を支える環境つくり】 〇大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康、環境と健康にかかわる対策、ごみの処理と上下水道の整備、食の安全性、食品衛生にかかわる活動 ※教科書 p100～p118
第８回	【健康を支える環境つくり】 〇保健サービス、医療サービスとその活用、医薬品の制度とその活用、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加 ※教科書 p116～p126 〇テスト対策

美術Ⅰ

1. 講座名	美術Ⅰ
2. 分類	共通教科科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数：6　　必要合格回数：6
6. 目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
7. 学習内容	主に下記項目分野の作品を鑑賞し、表現方法ついて学習します。 1. 絵画…透視図法 2. 彫刻…デッサン 3. デザイン…レタリング
8. 評価方法	美術への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力の観点により課題作品の制作の様子やレポート記述の点検等により行う。
9. 教材	「高校生の美術1」 日本文教出版

スクーリング計画	
第１回	絵画作品の中から透視図法が用いられた作品を鑑賞し、その技法について学ぶ。 また、実際に一点透視図法を使って作品制作をする。
第２回	彫刻作品を鑑賞し、様々な作風から素材やスケールなど彫刻分野の特性を学ぶ。 具象彫刻制作においてベースとなるデッサンを実際に自分の手を見ながら行う。
第３回	幅広いデザインの世界を分野別に詳しく学び、それぞれの機能や役割について考える。文字のデザインの基本を理解するためにレタリングを学ぶ。デザインの理解を深めたのち、T シャツのデザイン案を制作する。
第４回	数多くの作品を鑑賞してきた締めくくりとして、教科書の中から自分が一番興味を抱いた作品を模写する。制作を通して作者の思いや考えを感じ取る。

ペン習字（実用書道）

1. 講座名	ペン習字（実用書道）
2. 分類	芸術（書道）
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数：8 時間　必要出席回数：8 時間 スクーリング代替課題：4時間
5. レポート	総回数：6 回　　必要合格回数：6回
6. 目標	小中学校の書写硬筆を土台に、高等学校芸術書道で学ぶ、楷書・行書・仮名の学習内容を踏襲し、それぞれの書体の運筆・特徴を捉えながら、実用的な硬筆（ペン字）の基礎的な技能を身に付ける。 実用的な書、手紙やあいさつ文、履歴書などの書き方の学習内容を通して。
7. 活動内容	教科書：ペン習字の学習用テキスト『ペン習字の基礎（教育図書）』 レポート：6回 教材①漢字問題集　　教材②「高校生用手紙の書き方」 教材③「近畿統一履歴書」用紙　教材④定型封筒・官製はがき
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　場合に応じて平常点を加味する
9. 教材	①漢字問題集『常用漢字の標準演習（東京書籍）』 ②日本郵便㈱発行「〇〇年度版 高校生用手紙の書き方」 ③高卒求人就職活動用「近畿統一履歴書」用紙 ④定型封筒・官製はがき

スクーリング計画	
第 1 回	楷書の結構・理論について
第 2 回	楷書の字形・部首
第 3 回	行書の基本（連続・変化）
第 4 回	行書の部首
第 5 回	楷書から行書へ点画の変化、実技式テスト①
第 6 回	ひらがな・カタカナ
第 7 回	漢字仮名交じり（実用書）
第 8 回	学習のまとめ、実技式テスト②

コミュニケーション英語 I㊤

1. 講座名	コミュニケーション英語 I㊤
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 9　　必要出席回数： 8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	① 身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ② 身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ③ 異文化について興味を持ち、コミュニケーションを通して気持ちを伝えたり相手を理解したりしようとする前向きな態度を養う。 ④ 多様な価値観を受容し、問題解決に向けて協働する意識を養う。
7. 活動内容	教科書の各課のテーマは自己紹介、私の家、尊敬する人、行ってみたい場所、将来の夢など。それらのテーマについて、短い文章の読解をしたり、簡単なやりとりができるように（可能な人は）ペアで会話練習をしたりする。基本的な語彙や文法の説明も授業中に行う。また、レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、まちがいをおそれず積極的に書くこと。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）
9. 教材	All Aboard! English Communication I　東京書籍

スクーリング回数	授業内容	レポート
第 1 回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Warm-Up P.10~11 Pre-Lesson 1 My Name is Kimura Yui	レポート①
第 2 回	Pre-Lesson 2 I Like Japanese Comic Books Lesson 1 This is My House	レポート①②
第 3 回	Lesson 1 This is My House Lesson 2 My Favorite Hero	レポート②③
第 4 回	Lesson 2 My Favorite Hero	レポート③
第 5 回	Lesson 3 Cool Culture from Japan	レポート④
第 6 回	Lesson 3 Cool Culture from Japan Lesson 4 A Miracle Mirror	レポート④⑤
第 7 回	Lesson 4 A Miracle Mirror	レポート⑤
第 8 回	Lesson 5 Finding My Future	レポート⑥
第 9 回	Lesson 5 Finding My Future 復習	レポート⑥

コミュニケーション英語 I㊦

1. 講座名	コミュニケーション英語 I㊦
2. 分類	必修科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 9　　必要出席回数： 8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	① 身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ② 身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ③ 異文化について興味を持ち、コミュニケーションを通して気持ちを伝えたり相手を理解したりしようとする前向きな態度を養う。 ④ 多様な価値観を受容し、問題解決に向けて協働する意識を養う。
7. 活動内容	教科書の各課のテーマは、日本の伝統文化（浮世絵）、環境問題、戦争と平和、世界で活躍する人物など。それらのテーマについて、短い文章の読解をしたり、簡単なやりとりができるように（可能な人は）ペアで会話練習をしたりする。基本的な語彙や文法の説明も授業中に行う。また、レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、まちがいをおそれず積極的に書くこと。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）
9. 教材	All Aboard! English Communication I　東京書籍

スクーリング回数	授業内容	レポート
第 1 回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Lesson 6　A Funny Picture from the Edo Period	レポート①
第 2 回	Lesson 6　A Funny Picture from the Edo Period	レポート①
第 3 回	Lesson 7　Living on Ice	レポート②
第4回	Lesson 7　Living on Ice Lesson 8　Building Trust in Space	レポート②③
第 5 回	Lesson 8　Building Trust in Space	レポート③
第 6 回	Lesson 9　Pigs from across the Sea	レポート④
第 7 回	Lesson 9　Pigs from across the Sea	レポート④
第 8 回	Lesson 10　I am Malala	レポート⑤
第 9 回	Lesson 10　I am Malala 復習	レポート⑤⑥

コミュニケーション英語 II a

1. 講座名	コミュニケーション英語 II a
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 9　　必要出席回数： 8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	① 社会的な話題や異文化に関わる話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ② 社会的な話題や異文化に関わる話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ③ 異文化について興味を持ち、相互理解をするためにコミュニケーションにおいて様々な工夫をしようとする主体的な態度を養う。 ④ 多様な価値観を受容し、客観的に判断し、問題解決に向けて協働する意識を養う。
7. 活動内容	教科書の各課のテーマは世界の祭り、世界で活躍する人物、動物と環境問題、ロボットと人間、伝統文化（歌舞伎）など。それらのテーマについて、短い文章の読解をしたり、簡単なやりとりができるように（可能な人は）ペアで会話練習をしたりする。基本的な語彙や文法の説明も授業中に行う。また、レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、まちがいをおそれず積極的に書くこと。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）
9. 教材	All Aboard! English Communication II　東京書籍

スクーリング回数	授業内容	レポート
第 1 回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Lesson 1　Fantastic Festivals	レポート①
第 2 回	Lesson 2　Dancing with Freedom	レポート②
第 3 回	Lesson 1,2 の復習	レポート①②
第4回	Lesson 3　The Spirit of the Forest	レポート③
第 5 回	Lesson 4　Living with Robots	レポート③④
第 6 回	Lesson 3,4 の復習	レポート③④
第 7 回	Lesson 5　Special Makeup in Kabuki	レポート⑤
第 8 回	Lesson 5　Special Makeup in Kabuki	レポート⑤
第 9 回	Reading 1、総復習	レポート⑤⑥

コミュニケーション英語 II b

1. 講座名	コミュニケーション英語 II b
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 9　　必要出席回数： 8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	① 社会的な話題や異文化に関わる話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ② 社会的な話題や異文化に関わる話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ③ 異文化に興味を持ち、相互理解をするためにコミュニケーションにおいて様々な工夫をしようとする主体的な態度を養う。 ④ 多様な価値観を受容し、客観的に判断し、問題解決に向けて協働する意識を養う。
7. 活動内容	教科書の各課のテーマは世界遺産、ジェンダー、児童労働とフェアトレード、世界で活躍する人物、行ってみたい場所など。それらのテーマについて、短い文章の読解をしたり、簡単なやりとりができるように（可能な人は）ペアで会話練習をしたりする。基本的な語彙や文法の説明も授業中に行う。また、レポートにはテーマについて自分のことを書く自由作文があるので、まちがいをおそれず積極的に書くこと。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）
9. 教材	All Aboard! English Communication II　東京書籍

スクーリング回数	授業内容	レポート
第 1 回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明 Lesson 6　A Microcosm in the Sea	レポート①
第 2 回	Lesson 7　Happiness through Hula	レポート①②
第 3 回	Lesson 6・7の復習	レポート①②
第 4 回	Lesson 8　The Magic of the Cotswolds	レポート③
第 5 回	Lesson 9　The Bitter Truth about Chocolate	レポート③④
第 6 回	Lesson 8・9の復習	レポート③④
第 7 回	Lesson 10　Designing for Peace	レポート⑤
第 8 回	Lesson 10　Designing for Peace	レポート⑤
第 9 回	Reading 2、総復習	レポート⑥

韓国朝鮮語入門

1. 講座名	韓国朝鮮語入門
2. 分類	必修科目
3. 単位数	3単位
4. スクーリング	総回数：16　必要出席回数：12　スクーリング代替課題：7
5. レポート	総回数：９　必要合格回数：９
6. 目標	飛行機で一時間、そこは日本語が通じない街、韓国語の世界が広がっています。この講座では、ハングルの運用ができることを目的とする。また韓国の文化についても触れて学ぶことを目的とする。
7. 学習内容	ハングル、単母音、子音、激音、韓国文化の紹介、 終声、発音の変化等
8. 教材	白帝社　高校生のための韓国朝鮮語 新・好きやねんハングル１

スクーリング回数	授業内容	レポート	
第１回	「ハングル」・単母音	レポート①	P 8～P13
第２回	子音①・子音②	レポート②	P14～P17
第３回	子音③・濁る音・母音子音のまとめ	レポート③	P18～P23
第4回	激音・二重母音①・二重母音②	レポート④	P24～P29
第５回	復習・韓国文化の紹介	レポート⑤	韓国文化への感想文
第６回	濃音・復習と整理・パッチム①・②	レポート⑥	P30～P37
第７回	パッチム後の発音・連音・まとめ	レポート⑦	P38～P45
第８回	会話文法 第1課 第2課 復習	レポート⑧	P35～P59
		レポート⑨	P13～P42

中国語入門

1. 講座名	中国語入門
2. 分類	必修科目
3. 単位数	3単位
4. スクーリング	総回数：16　必要出席回数：12　スクーリング代替課題：7
5. レポート	総回数：９　必要合格回数：９
6. 目標	基本的な中国語の表現を発音や表記を通して学び、簡単な中国語でのコミュニケーションが可能になることを目的とする。
7. 学習内容	同じ漢字を使う中国語ですが，読み方，意味などは全く異なるものもあります。難しいといわれる発音や構文，簡単な日常会話を学びます。 また，中国文化や現代の中国事情にも視聴覚教材を通して学習します。
8. 教材	白水社　《最新２訂版》中国語はじめの一歩（CD付）

スクーリング回数	授業内容	レポート	
第１回	短母音・声調・子音	レポート①	短母音・声調・子音
第２回	複合母音・鼻母音	レポート②	複合母音・鼻母音
第３回	時間をたずねる	レポート③	時間をたずねる
第4回	名前と大学をたずねる	レポート④	名前と大学をたずねる
第５回	中国文化の紹介	レポート⑤	中国文化の紹介
第６回	「なに」の表現	レポート⑥	「なに」の表現
第７回	「いる」・「ある」・疑問文	レポート⑦	「いる」・「ある」・疑問文
第８回	指示代名詞・疑問文	レポート⑧	指示代名詞・疑問文
		レポート⑨	総合練習問題

家庭基礎

1. 講座名	家庭基礎
2. 分類	家庭
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数：8 時間　必要出席回数：6 時間 スクーリング代替課題：3 時間
5. レポート	総回数：6 回　　必要合格回数：6回
6. 目標	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得することを目標とします。
7. 活動内容	教科書：家庭基礎（東京書籍） レポート：6回 教科書の内容を学習しながら、実習を行います（新型コロナウイルス感染防止の観点から、22 年度は調理以外の実習の予定）。 スクーリングは 2 時間連続の計 4 回（8 時間分）の講座です。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）　場合に応じて平常点を加味する
9. 教材	教科書・レポート・実習に使用するプリントなど

スクーリング計画	
第 1 回	第1章 自分らしい人生をつくる　第2章 子どもと共に育つ
第 2 回	第3章 高齢社会を生きる　第4章　共に生き、共に支える
第 3 回	第5章 食生活をつくる
第 4 回	第5章 食生活をつくる
第 5 回	第6章 衣生活をつくる（実習）
第 6 回	第6章 衣生活をつくる（実習）
第 7 回	第7章 住生活をつくる
第 8 回	第8章 経済生活を営む　第9章 生活を設計する

社会と情報

1. 講座名	社会と情報
2. 分類	普通科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：4　　スクーリング代替課題：2
5. レポート	総回数：4　　必要合格回数：4
6. 目標	情報のディジタル化などの情報の活用の仕方と表現方法、インターネットなどネットワークについての基本的な知識を学びます
7. 学習内容	・メディアの意味と特徴や情報の信頼性や信憑性について理解する ・IP アドレスやパケット通信の仕組みやWWWや電子メールの仕組みを知る。 ・ソーシャルメディアや SNS など情報社会のさまざまな問題について学び、情報セキュリティや情報モラルを理解する。 ・様々な情報システムを学び、エラーや障害発生時の対応を学ぶ。
8. 評価方法	＊レポート、スクーリングとテストで評価し、各評価項目は以下の方法に従って行う。 コンピュータやメディア・プログラミングなどの基礎的な知識や活用は、 レポートとテストによって評価する。 学習内容から学んだ知識や技術を適切に判断して表現できているかは、 レポートおよび提出課題や成果物とテストによって評価する。 情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている姿勢は、 成果物やレポートの振り返りやスクーリング出席回数で評価する。
9. 教材	東京書籍　社会と情報

スクーリング		レポート	
回	学　習　内　容	回	課題内容
①	情報とメディア信頼できる情報と信頼できない情報情報の見極め	①	信頼できる情報・信頼できない情報 情報の見極め 情報のデジタル表現
②	情報のディジタル表現 ディジタルデータの特徴 伝達や発表のための手段 効果的なプレゼンテーション	②	ディジタルデータの特徴 インターネットの仕組み WWWと電子メール 伝達や発表のための手段
③	インターネットの仕組み WWWと電子メール	③	情報の表現と伝達の仕組み 情報モラル 電子商取引
④	情報の検索・メディアの発達多彩な情報発信 ネットコミュニケーション		
⑤	誰でも表現者・発信者の時代 情報社会の影・情報セキュリティ 情報モラル	④	情報化社会 情報システムの種類 情報システムの信頼性
⑥	情報社会と著作権・個人情報の保護		
⑦	情報システムの種類・発展と進歩 情報化と社会の変化		
⑧	情報システムの信頼性 情報解決・解決のステップ		

宗教　聖書に親しむ

1. 講座名	宗教 聖書に親しむ
2. 分類	必修科目
3. 単位数	1単位
4. スクーリング	総回数：４　必要出席回数：３　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：４　必要合格回数：３
6. 目標	① 身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ② 身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ③ 異文化について興味を持ち、コミュニケーションを通して気持ちを伝えたり相手を理解したりしようとする前向きな態度を養う。 ④ 多様な価値観を受容し、問題解決に向けて協働する意識を養う。
7. 活動内容	「愛」、「希望」、「信じること」など、現代においては、使い古され、意味がないものかのようにされてしまっている“本当は”大切な事柄。そのことを、世界で一番読まれているベストセラー本の『聖書』を通して、再度捉えなおせたらと願っています。 本質的な人間の痛みや苦しみ・悩みは、時代が違えどさほど変わりはありません。豊かな時代だからこそ悩み多きこの時代に、“いのち”、“生きる術”、“ともに歩む豊かさ”を、聖書によって味わえたら、と思っています。 授業においては、書かれている『物語』を味わいながら、皆さんと語り合いたいと望んでいます。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）
9. 教材	新共同訳 小型新約聖書

スクーリング回数	授業内容	レポート
第１回	「イエス様なぜ死んだの？」	レポート①
第２回	「まいごの羊を見捨てるか」	レポート②
第３回	「生き方が変わるとき」	レポート③
第４回	「イエスは復活された」	レポート④

宗教　体感するキリスト教

1. 講座名	宗教　体感するキリスト教
2. 分類	必修科目
3. 単位数	1単位
4. スクーリング	総回数：４　　必要出席回数：３　　スクーリング代替課題：1
5. レポート	総回数：４　　必要合格回数：３
6. 目標	①　身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題についての平易な会話や文章を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえることができる。 ②　身近な話題や、関心を持ちやすい社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。 ③　異文化について興味を持ち、コミュニケーションを通して気持ちを伝えたり相手を理解したりしようとする前向きな態度を養う。 ④　多様な価値観を受容し、問題解決に向けて協働する意識を養う。
7. 活動内容	西欧文化の礎となったキリスト教のメッセージを五感で受け取ってもらいたいと思っています。実際の授業においても音楽を一緒に聴くことなどを通してキリスト教を感じてもらう予定をしています。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）
9. 教材	新共同訳　小型新約聖書

スクーリング回数	授業内容	レポート
第１回	「聖書とは」	レポート①
第２回	「天地創造の神様」	レポート②
第３回	「救い主　イエス・キリスト」	レポート③
第４回	「新しい出発」	レポート④

産業社会と人間 A

1. 講座名	産業社会と人間 A
2. 分類	総合
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 4　必要出席回数： 3
5. レポート	総回数： 4　必要合格回数： 3
6. 目標	1　自己の生き方を探求させるという観点から、 ①自身の過去を振り返り、現在の状況、そして、将来への希望を模索する。 ②仕事について自ら調べ、必要なスキル、進路選択を自ら探す。 ③自己啓発的な講演などを通して、職業の選択決定に必要な能力・態度を培う ④共生社会について学習し、自ら今の社会においての課題とこれからどうしていくべきであるかを考える。 ⑤共生社会について学び現代社会の現状と課題に対して主体的に参加するための資質・能力持つことができる。
7. 活動内容	1「自分の過去・将来について考える」 2.「共に生きる社会を考える」 3.「仕事について学ぶ」
8. 評価方法	・レポート、スクーリングとテストで評価 ・自身についてのこと、共生社会を含む講演での学びと考慮したことをレポート、テストによって評価する。
9. 教材	仕事から見つける学校資料 講演での配布資料

スクーリング計画	
第 1 回	自分の過去を振り返り、将来について考える
第 2 回	講演（共生社会①）正社員とアルバイト
第 3 回	講演（共生社会②）正社員とアルバイト / 野宿者とともに /
第 4 回	講演（共生社会③）野宿者とともに /UNICEF

子どもの発達と保育

1. 講座名	子どもの発達と保育
2. 分類	福祉系列
3. 単位数	2 単位
4. スクーリング	総回数：8 時間　必要出席回数：6 時間 スクーリング代替課題：3 時間
5. レポート	総回数：6 回　　必要合格回数：6回
6. 目標	命を生み、育む保育は「生」の尊重であり、人と人との「育ち合い」の道筋です。自己をみつめることから学ぶ。赤ちゃんの不思議や命の不思議を見つめなおし、「命の尊厳」について考察を深める。 可能な限り、保育系の進学を予定・検討している生徒の履修を優先する。
7. 活動内容	教科書：子どもの発達と保育（教育図書） レポート：6回 教科書の内容を学習をして、子ども・特に赤ちゃんについての学習を行う。 スクーリングは 2 時間連続の計 4 回（8 時間分）の講座。 最終スクーリングの2時間で、子どもの遊びと文化について、実習を行う。
8. 評価方法	筆記式テスト（100%）
9. 教材	教科書・レポート・実習に使用するプリントなど 赤ちゃんの実物大・重さの人形、子どもの遊びに関する材料（折り紙・画用紙）など

スクーリング計画（毎回2時間連続のスクーリング）	
第 1 回	赤ちゃんはこんなにすばらしい［感性を育てるということ］
第 2 回	赤ちゃんの発達と生活
第 3 回	赤ちゃんの発達過程
第 4 回	子どもの生活と遊び・生活習慣としつけ
第 5 回	保育の意義と目標
第 6 回	子どもの福祉
第 7 回	実習（子どもに関する遊びについて）
第 8 回	実習（子どもに関する文化について）

地域福祉

1. 講座名	地域福祉
2. 分類	総合
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 8+3　必要出席回数： 6
5. レポート	総回数： 4　必要合格回数： 4
6. 目標	戦後新しい憲法が公布され、国はその責任において国民一人ひとりの生活を保障しなければならないことが定められました。しかし、今現在、国の力だけでは「幸福」を追い求めることが難しくなっています。 「幸福」を確保するためには、地域における一人ひとりの活動が必要です。私たちに一体何が出来るのか、一緒に考えてみましょう。
7. 活動内容	福祉系の実習に必要な基礎的なことを学びます。 授業は、参加体験型で行います。積極的な参加が必要です。
8. 評価方法	・レポート、スクーリングとテストで評価
9. 教材	自主教材

スクーリング計画	
第 1 回	福祉の理解と地域福祉
第 2 回	地域福祉の歴史的変遷
第 3 回	コミュニティワークの基本と展開過程
第 4 回	地域福祉の推進

福祉実習基礎

1. 講座名	福祉実習基礎
2. 分類	総合
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 8+4　必要出席回数： 8
5. レポート	総回数： 3　必要合格回数： 3
6. 目標	人間は、決して一人では生きて行けない生き物です。あなたの日々の生活を振り返ってみてください。家、学校、電車、近所のお店など私たちはいろいろな場所で様々な人に出会います。そんな時、何と声をかけますか？どんな気持ちで？どんな表情で？ここから「コミュニケーション」は始まるのです。この講座は、「コミュニケーション」をキーワードに、体験学習を通して、自分を見つめ、他人（障がいのある人）を見つめていきます。 一緒に、人と人とのかかわりについて考えてみましょう。
7. 活動内容	福祉系の実習に必要な基礎的なことを学びます。 授業は、参加体験型で行います。積極的な参加が必要です。
8. 評価方法	・レポート、スクーリングとテストで評価
9. 教材	自主教材

スクーリング計画	
第 1 回	障がいの理解
第 2 回	障がい(視力障がい)の理解
第 3 回	車いすの構造と全身性
第 4 回	障がい者支援実践(体験)

国際平和セミナー

1. 講座名	国際平和セミナー
2. 分類	総合科目（多文化共生系列）
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：12　　必要出席回数：10　　スクーリング代替課題：6
5. レポート	総回数：3　　必要合格回数：3
6. 目標	1. アジア太平洋戦争（1930～1945 年）の時代に日本やアジア各地で起きた歴史的事実を因果関係と共に理解することができる。（知識・技能） 2. アジア太平洋戦争についての国内外の語りを読み聞いて、「加害」と「被害」の多重な関係について表現することができる。（思考・判断・表現） 3. 戦争責任や戦後責任について思索し、国と個人のレベルに分けて、自分の考えを述べることができる。（思考・判断・表現） 4. 多様な立場からの歴史の語りを受容して、平和と人権のために公正で主体的な態度を持つことができる。（主体的に学習に向かう態度）
7. 活動内容	中学校の歴史教科書を使って歴史の事実や因果関係について理解します。また、マレーシアの中学校の歴史教科書、海外メディアのドキュメンタリー、漫画「はだしのゲン」や「夕凪の街　桜の国」、海外の戦争被害者の記事などを読んで、感想を書いたり、クラスで意見を共有したりします。
8. 評価方法	・レポート（50%）とテスト（50%）
9. 教材	・黒田日出夫他（2013）『社会科　中学生の歴史』 帝国書院 ・中沢啓治（1996）『はだしのゲン』 中央公論新社 ・こうの史代（2004）『夕凪の街　桜の国』双葉社 ・Ramlah,A., Abdul, H. S., & Muslimin, B. (2010). Sejarah Tingkatan 3. Kuala Lumpur: DPB & KPM

スクーリング計画	
第１回	日本の戦争の語りを読む①：日本の中学の歴史教科書 アジア太平洋戦争の歴史的事実を確認する
第２回	日本の戦争の語りを読む②日本の中学の歴史教科書 アジア太平洋戦争の歴史的事実を確認する
第３回	日本の戦争の語りを読む③：『はだしのゲン』 戦争のスローガンが国民の意識や生活に与える影響を考える
第４回	日本の戦争の語りを読む④：『はだしのゲン』 「加害者」と「被害者」の関係について考える
第５回	日本の戦争の語りを読む④：『夕凪の街　桜の国』 原爆被害者の心理について考える
第６回	アジアの戦争の語りを読む①：マレーシアの中学の歴史教科書 誰の視点でどのような事実が書かれているかを知る
第７回	アジアの戦争の語りを読む②：マレーシアの戦争体験者と大学生の手記 マレーシア人の戦争経験と国民感情について考える
第８回	アジアの戦争の語りを読む③：海外の広島原爆被害者の新聞記事 海外の原爆被害者の経験を知り、海外被爆者への補償の在り方について考える
第９回	アジアの戦争の語りを読む④：「強制労働」「軍票」「華僑粛清」「慰安婦」などについての記事アジアにおける日本の加害責任について考える
第１０回	振り返りと共有

ジェンダー入門

1. 講座名	ジェンダー入門
2. 分類	総合選択科目　多文化共生系列
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：８　　必要出席回数：８　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数：４　　必要合格回数：４
6. 目標	④ 自身や社会に蔓延する性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気付き、それらから解き放たれた生きやすさ感覚を獲得する。 ⑤ 誰もが暴力の被害者にも加害者にもなることなく、安心安全に生きる権利を有していることを確信する。 ⑥ 一人一人の自己肯定感を高める。
7. 活動内容	ジェンダーという言葉を切り口に、結婚や子育てなどのライフスタイルの選択、職業選択、デート DV、LGBTQ など身近なテーマについて考えるための具体的な情報提供を行う。定まった回答があるテーマではないことを十分に理解してもらい、現状をもとに自らが考えること、さらに、卒業後もジェンダー視点で物事を捉え続けることの大切さを伝える。 授業は、自分の気持ちや考えをワークシート及びポストイットに記入する形式を多く取り入れる。個人のプライバシーに配慮したうえで、それらをクラスメンバーで共有する。
8. 評価方法	筆記式テスト・・・100%
9. 教材	スクーリングで配布されたプリント

スクーリング回数	授業内容	レポート
第 1・2 回	男らしさ、女らしさって何？：固定的な性別役割分業観を見直す	レポート①
第 3・4 回	デート DV について	レポート②
第 5・6 回	LGBTQ:多様な性、生き方について	レポート③
第 7・8 回	私もあなたも大切にするコミュニケーション術	レポート④

多文化共生考

1. 講座名	多文化共生考
2. 分類	総合選択科目　多文化共生系列
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：20　　必要出席回数：6　　スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：4　　必要合格回数：4
6. 目標	① 異文化理解を深めることで視野を広げ、自分の価値観や考え方を相対化し、テーマについて多角的に思索することができる。 ② テーマについて批判的に考え、問題解決や課題達成のために、公正な姿勢で他者と協働することができる。
7. 活動内容	外国にルーツを持つ生徒や留学生と、身の回りのことや社会的テーマなどについて対話をする。また、留学生に日本に対する思いや将来の夢などについてインタビューをする。その対話やインタビューを振り返り、気づいたこと、感じたことなどをグループで共有することを通して、異なる価値観や考え方を認識し、一方で自分の価値観や考え方を客観的に捉える。テーマについての話し合いでは、グループで最終的に結論を出すよう協働する。
8. 評価方法	筆記式テスト・・・100%
9. 教材	スクーリングで配布されたプリント

スクーリング回数	授業内容	レポート
第1・2回	自己紹介（私の大切なもの）	
第3・4回	ダイヤモンドランキング	
第5・6回	ゲーム「バフォバファ」	レポート①
第7・8回	留学生との交流①（好きなものについて話そう！）	
第9・10回	テーマ「いじめはなぜ起こるか」について話そう	レポート②
第11・12回	テーマ「女性専用車両は必要か」について話そう	
第13・14回	留学生との交流②（インタビュー「〇〇さんと日本」）	レポート③
第15・16回	インタビューの発表	
第17・18回	テーマ「素敵な恋愛をするために必要な力とは？」について話そう	レポート④
第19・20回	振り返り会（パーティー）	

地域の文化

1. 講座名	地域の文化（コリアンカルチャーと言語）
2. 分類	総合科目　多文化共生系列
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：８　　必要出席回数：６　　スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：４　　必要合格回数：４
6. 目標	①　隣国である韓国の事を学び朝鮮半島の文化を考える ②　韓国語の簡単な会話と文字であるハングルの仕組みを学ぶ
7. 活動内容	ハングルの仕組みを学び、自分の名前を書いてみる。また、K－pop や K-ドラマなどを例に、最新ポップカルチャーの流れを考える。最後に、韓国の伝統遊びを直接体験し、日本の遊びとの違いを考えてみる
8. 評価方法	筆記式テスト・・・100%
9. 教材	スクーリングで配布されたプリント

スクーリング回数	授業内容	レポート
第 1・2 回	韓国とハングル文字	レポート①
第 3・4 回	韓国の POP カルチャー	レポート②
第 5・6 回	韓国での生活（交通・食べ物など）と基本会話	レポート③
第 7・8 回	韓国の祝日と伝統遊び	レポート④

地球市民入門

1. 講座名	地球市民入門
2. 分類	総合科目　多文化共生系列
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：20　　必要出席回数：6　　スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：4　　必要合格回数：4
6. 目標	①「紛争」「貧困・差別」、「環境問題」など、個人や一国だけの取り組みでは解決できない課題（Global Issues ＝ 地球規模）の課題について気づく。 ② 自分の考えをまとめ、発言、他の生徒との共有などを通じて、その問題についての考察を深め、行動につなげる。
7. 活動内容	上記の目標①の課題について、フィールドワーク（現場訪問）、ゲストスピーカーの講話、グループワーク、映画・YouTube視聴などを交えながら学び、考察を深めていきます。 天候その他の都合により、以下の授業の内容が入れ替わることがあります。また、フィールドワークには交通費実費、入館料等が必要になる場合があります。
8. 評価方法	筆記式テスト・・・100%
9. 教材	スクーリングで配布されたプリント

スクーリング回数	授業内容	レポート
第1・2回	オリエンテーション：「平和」って何だろう？	
第3・4回	YMCAと私、そして世界とつながる。	
第5・6回	地球の歩き方1	レポート①
第7・8回	フィールドワーク1　大阪城戦争痕跡探索ツアー	
第9・10回	ジェンダー（社会的性差）を考える1	レポート②
第11・12回	ジェンダー（社会的性差）を考える2	
第13・14回	フィールドワーク1　人権・差別を考える	レポート③
第15・16回	NGO,NPOの活動を知ろう。	
第17・18回	グループワーク「貿易ゲーム」	レポート④
第19・20回	振り返り会（パーティー）	

スポーツⅡ

1. 講座名	スポーツⅡ
2. 分類	ウエルネス系列
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：20時間　必要出席回数：10時間 スクーリング代替課題：—時間（—枚）
5. レポート	総回数：　2回　必要合格回数：2回
6. 目標	・他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現できるようになる ・危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができるようになる ・体力や技能の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できるようになる
7. 活動内容	第1回：レポート、アイスブレイクを行い、各自のスポーツ種目への意識等を確認し、興味・関心を深める 第2回：ネット型種目　バレーボール バレーボールを行い、チームで協力して物事に取り組む力を身につける 第3回：ネット型種目　バレーボール 様々な戦略や工夫を講じて、勝利に向けての戦略を立てれるようになる 第4回：ネット型種目　バドミントン バドミントンの特性を理解し、シングルス・ダブルスでの違いを考える 第5回：ネット型種目　卓球 卓球の特性を理解し、道具を用いた種目の戦略を考える 第6回：ゴール型種目　バスケットボール ドリブルなどの基礎動作から、対人プレイ・パス等の戦術を考える 第7回：　ゴール型種目　フットサル 足を使いボールをコントロールするスキルを身につけ、相手の裏を突くプレイを考え、実践してみる 第8回・9回：ターゲット型種目　グラウンドゴルフ 普段行うことのない種目を体験し、種目の特性を理解しながら戦略を考えたり、コミュニケーションを図る 第10回：レポート、振り返りを実施。 各自が得た経験や知識等を共有し、各種目の有り方等を考える時間を持つ
8. 評価方法	レポート・スクーリング及びテストで評価します。
9. 教材	

スクーリング計画	
第１回 ①②（座学）	レポート・アイスブレイク
第２回 ③④（実技）	ネット型種目（バレーボール） □個人のスキル向上を目的として、パスの精度向上を目指す
第３回 ⑤⑥（実技）	ネット型種目（バレーボール） □ゲームを通じて、チームワークの形成、協調性の育成を目指す
第４回 ⑦⑧（実技）	ネット型種目（バドミントン） □シャトルの打ち分けや相手を欺き、ポイントを取るための戦術を学ぶ
第５回 ⑨⑩（実技）	ネット型種目（卓球） □打ち方やルールなどを試合を通じて学びを深める
第６回 ⑪⑫（実技）	ゴール型種目（バスケットボール） □ドリブルやパスワークなどの個人スキルや、チームでのコミュニケーションからお互いをカバーしあうなどの動きを身につける事を目標とする
第７回 ⑬⑭（実技）	ゴール型種目（フットサル） □ドリブルなどの個人スキルを身につけ、ゲーム内で個々が役割等を理解しながら、勝敗が競いあえるようになることを目標とする
第８回 ⑮⑯（実技）	球技型種目（グラウンドゴルフ） 種目に関する基本的な知識の習得と道具の使い方について学ぶ
第９回 ⑰⑱（実技）	球技型種目（グラウンドゴルフ） 打球のコントロールを行い、思ったところに打ち、他者と勝敗を競い合うことを目標とする
第８回 ⑲⑳（座学）	レポート・振り返り 実技での経験を振り返り、各種目での実施上や指導を行う上での注意点などを考え、意見などを共有する時間を持つ

ヨーガ

1. 講座名	ヨーガ
2. 分類	ウエルネス系列
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数：8時間　必要出席回数：6時間 スクーリング代替課題：　3時間（　3枚）
5. レポート	総回数：　2回　必要合格回数：2回
6. 目標	・実習で肉体を客観視することで客観視力を養い、自己コントロールの力、自制心を身につけるようにする ・実習で肉体を客観視することで自身を理解し、他者を理解できる力を養うことで、社会的な健康状態を良好にできるようにする ・日頃の運動不足の解消をする
7. 活動内容	第1回：テーマ「ヨーガの歴史」 ヨーガの歴史と二極の対立感情を学び、人間万事塞翁が馬という諺を引き合いに出して、目の前の今やるべきことに集中することの大切さを学ぶ 第2回：テーマ「アーサナ（体操）について」 ヨーガの体操を実習することで、前回、学んだ、今、ここだけに集中することの大切さを学ぶ 第3回：テーマ「ヨーガと健康」 ヨーガと WHO の健康の概念（単位肉体に病気がない状態をいうのではなく、肉体的にも、精神的にも、社会的にも健やかな状態を健康という）と同じであることを学び、そのために自分を客観視する体操を行う 第4回：テーマ「幸せとは」 ヨーガで考える幸福感を伝えて、物事に一生懸命に取り組むことの大切さを学ぶ
8. 評価方法	レポート・スクーリング及びテストで評価する
9. 教材	

スクーリング計画	
第１回 ①②	テーマ「ヨーガの歴史」 前半 20 分でプロジェクターを使用して、ヨーガの歴史を学ぶ 後半は、呼吸に合わせてアイソメトリック負荷をかける体操で、緊張と弛緩を意識化し、目の前の、やるべきことに集中する力を養う
第２回 ③④	テーマ「アーサナ（体操）について」 前半 20 分でプロジェクターを使用して、聖典ヨーガ・スートラに記載されている体操の意味を学ぶ 後半は、呼吸に合わせてアイソメトリック負荷をかける体操で、今、ここだけに集中する力を養う
第３回 ⑤⑥	テーマ「ヨーガと健康」 前半 20 分でプロジェクターを使用して、健康についてのインドの逸話を学ぶ 後半は、呼吸に合わせてアイソメトリック負荷をかける体操で、緊張と弛緩を意識化することで客観視力を養う
第４回 ⑦⑧	第4回：テーマ「幸せとは」 前半 20 分でプロジェクターを使用して、メーテルリンクの「青い鳥」を伝えながら、幸せは心の状態によることを学ぶ 後半は、呼吸に合わせてアイソメトリック負荷をかける体操で、緊張と弛緩を意識化することで集中力を養う

文書作成

1. 講座名	文書作成
2. 分類	総合選択科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：6　　スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：5　　必要合格回数：5
6. 目標	パソコンを用いたさまざまな文書作りを目的とします。講座内容は文書の入力と書式の設定、グラフィックの挿入などです
7. 学習内容	・書式設定を踏まえたうえで、文章の入力練習をおこなう。 ・ビジネス文書を作成・編集し、クリップアートやワードアートの機能についても学ぶ。 ・図形描画やドロップキャップの機能を活用する。
8. 評価方法	＊レポート、スクーリングとテストで評価し、各評価項目は以下の方法に従って行う。教室での課題を評価の対象とする。 学習内容から学んだ知識や技術を適切に判断して表現できているかは、レポートおよび提出課題や成果物とテストによって評価する。 授業の中での課題作成において、自ら評価し改善しようとしている姿勢は、成果物やレポートの振り返りやスクーリング出席回数で評価する。
9. 教材	実教出版 30時間でマスター Word2013

スクーリング		レポート	
回	学　習　内　容	回	課題内容
①	日本語入力システムと書式設定	①	P.122−123
②	文章の入力と書式設定	②	P.148−149
③	ビジネス文書（編集機能）	③	P.154−159
④	ｲﾗｽﾄ入り文書の作成（ｸﾘｯﾌﾟ・ﾜｰﾄﾞｱｰﾄ）		
⑤	案内状の作成（図形描画機能）	④	P.160、P.176
⑥	新聞作成（段組み・ドロップキャップ）	⑤	P.181、P.191
⑦	復習と演習（1）		
⑧	復習と演習（2）		

情報リテラシー

1. 講座名	情報リテラシー
2. 分類	総合選択科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：6　　スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：5　　必要合格回数：5
6. 目標	情報をどのように理解し、伝えるかを身近な実例を通して学び、個人情報や知的財産・セキュリティなどのリテラシー教育を目的とした講座です。
7. 学習内容	私達がテレビ、ラジオ、インターネット、雑誌などのメディアから得ている情報をどのように理解し、伝えるかを身近な実例を通して学んでいきます。授業では、時間ごとにワークシートを配布します。内容の一部は、「よく見るテレビやラジオ番組を取り上げ、どのような影響を受けているかを考える」「各国の国旗のデザインの意図を調べる」などです。 また、個人情報と知的財産（著作権）、情報セキュリティなど、情報倫理についての学習もします。
8. 評価方法	＊レポート、スクーリングとテストで評価し、各評価項目は以下の方法に従って行う。 学習内容から学んだ知識や技術を適切に判断して表現できているかは、 レポートおよび提出課題や成果物とテストによって評価する。 授業の中での課題作成において、自ら評価し改善しようとしている姿勢は、 成果物やレポートの振り返りやスクーリング出席回数で評価する。
9. 教材	実教出版　ﾒﾃﾞｨｱﾘﾃﾗｼｰ 実教出版　最新 事例でわかる情報ﾓﾗﾙ

スクーリング		レポート	
回	学　習　内　容	回	課題内容
①	メディアリテラシーとは・マスメディア・	①	ﾒﾃﾞｨｱﾘﾃﾗｼｰ P.6-23
②	広告・雑誌・標識	②	ﾒﾃﾞｨｱﾘﾃﾗｼｰ P.24-52
③	さまざまなメディア・形が伝える情報・	③	最新 事例でわかる情報モラル
④	グラフから読み取れること		
⑤	個人情報・知的財産	④	ﾒﾃﾞｨｱﾘﾃﾗｼｰ P.6-23
⑥	情報モラル・セキュリティ	⑤	課題作成
⑦	総合実習①		
⑧	総合実習②		

ホームページ作成

1. 講座名	ホームページ作成
2. 分類	総合選択科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：6　　スクーリング代替課題：3
5. レポート	総回数：5　　必要合格回数：5
6. 目標	HTML 言語を使ってページの構成を学び、実際に Web ページを作成する。
7. 学習内容	Web ページがどのように作成されているかを理解し、実際にHTML（タグ言語）を利用して Web ページを作成します。「応用」では、スタイルシートも学習します。
8. 評価方法	＊レポート、スクーリングとテストで評価し、各評価項目は以下の方法に従って行う。教室での課題を評価の対象とする。 学習内容から学んだ知識や技術を適切に判断して表現できているかは、レポートおよび提出課題や成果物とテストによって評価する。 授業の中での課題作成において、自ら評価し改善しようとしている姿勢は、成果物やレポートの振り返りやスクーリング出席回数で評価する。
9. 教材	実教出版　30 時間でﾏｽﾀｰ Web デザイン

スクーリング		レポート	
回	学　習　内　容	回	課題内容
①	HTML の基礎	①	教科書 P4～13
②	ページの作成の基礎	②	教科書 P4～20
③	文字の装飾・段落レイアウト	③	教科書 P4～30
④	画像の挿入		
⑤	リンクの設定	④	教科書 P4～13
⑥	表の利用（1）	⑤	教科書 P4～81
⑦	表の利用（2）		
⑧	フレームの利用		

ボランティアを考える

1. 講座名	ボランティアを考える
2. 分類	自由選択
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数： 8+4　必要出席回数： 6
5. レポート	総回数： 4　必要合格回数： 4
6. 目標	福祉・環境・国際など様々な分野でボランティア活動が行なわれています。 実際の活動を紹介しながら、「ボランティア」が私たちの生活のなかでどのような役割を果たしているのかを考えます。
7. 活動内容	ボランティアってなんだろう？ ボランティア活動について
8. 評価方法	・レポート、スクーリングとテストで評価
9. 教材	自主教材

スクーリング計画	
第 1 回	ボランティアってなんだろう？
第 2 回	ボランティア活動を考える①
第 3 回	ボランティア活動を考える②
第 4 回	ボランティア活動を考える③

日本語

1. 講座名	日本語
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 20　　必要出席回数： 8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	① 日常生活、興味関心があること、身近な社会的テーマについて、ある程度の長さの文章を読んで理解することができる。 ② 日常生活、興味関心があること、身近な社会的テーマについて、自分の経験や意見を会話の中で伝えたり、発表したりすることができる。 ③ 小学校高学年から中学校の教科内容について概要や要点を理解し、キーワードを用いて概念や意味などを説明することができる。
7. 活動内容	初めにお互いを知り慣れるためにクラス内で自己紹介やゲームなどを行う。日本語初級後半から中級の教材等を使って、教科や日本文化、社会事情などをテーマに文章を読んだり、自分の経験や意見を話したり、作文を書いたりする。グループ活動やペア活動も行う。漢字は定期的に小テストを行い、定着を図る。
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	プリント

スクーリング回数	授業内容
第１回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明
第２回	交流活動・クイズに挑戦！
第３回	【食べ物】① 言葉と漢字を覚えよう ※ レポート1を配付
第４回	【食べ物】② 文章を読んでみよう ※ レポート1（つづき）を使用
第５回	【食べ物】③ わたしの意見 ※ レポート2を配付
第６回	【食べ物】④ 確認しよう ※ レポート2（つづき）を使用
第７回	【趣味】① 言葉と漢字を覚えよう ※ レポート３を配付
第８回	【趣味】② 文章を読んでみよう ※ レポート３（つづき）を使用
第９回	【趣味】③ わたしの意見 ※ レポート４を配付
第10回	【食べ物】④ 確認しよう ※ レポート４（つづき）を使用
第11回	【病気】① 言葉と漢字を覚えよう ※ レポート５を配付
第12回	【病気】② 文章を読んでみよう ※ レポート５（つづき）を使用
第13回	【病気】③ わたしの意見 ※ レポート６を配付
第14回	【食べ物】④ 確認しよう ※ レポート６（つづき）を使用
第15回	【仕事】① 言葉と漢字を覚えよう ※ プリント１を配付
第16回	【仕事】② 文章を読んでみよう ※ プリント１（つづき）を使用
第17回	【仕事】③ わたしの意見 ※ プリント2を配付
第18回	【仕事】④ 確認しよう ※ プリント2（つづき）を使用
第19回	復習①
第20回	復習②

日本語演習

1. 講座名	日本語演習
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2単位
4. スクーリング	総回数： 20　　必要出席回数： 8　　スクーリング代替課題：4
5. レポート	総回数： 6　　必要合格回数： 6
6. 目標	1特定の場面において重要な決まり事や習慣、文化の違いを理解する。 2それらの違いを理解しながら、特定の場面において問題解決や課題達成ができるようになる。 3身近なテーマにおける自己表現や意見のやりとりを通して、自分の価値観に気付きアイデンティティを構築する。
7. 活動内容	日常生活や学校生活において「困る」場面で、相手の立場や意思を尊重しながら、自分も目的を達成するために、どのような順序で、どのように会話を展開すればよいのか、様々な可能性を教師やクラスメートとともに対話を通して考える。また、身近なテーマで自分の気持ちや価値観を表現する活動も行う。身近な人にインタビューをする練習もする。
8. 評価方法	①知識・技能　・レポート（30%）とテスト（70%） ②思考・判断・表現　・レポート（70%）とテスト（30%） ③主体的に学習に取り組む態度　・レポートの「振り返り」部分とスクーリング出席（100%）
9. 教材	プリント

スクーリング回数	授業内容
第１回	本講座の目的、内容、評価方法、スクーリングやレポートについての説明
第２回	【話してみよう】① ※レポート1を配付
第３回	【表現の仕方】文体の違い①
第４回	【話してみよう】②
第５回	【表現の仕方】文体の違い② ※レポート2を配付
第６回	【話してみよう】③
第７回	【話してみよう】④
第８回	【表現の仕方】文体の違い③ ※レポート3を配付
第９回	【話してみよう】⑤ ※レポート4を配付
第10回	【表現の仕方】話し言葉と書き言葉①
第11回	【話してみよう】⑥
第12回	【表現の仕方】話し言葉と書き言葉② ※レポート5を配付
第13回	【話してみよう】⑦ ※レポート6を配付
第14回	【表現の仕方】話し言葉と書き言葉③
第15回	【話してみよう】⑧
第16回	【表現の仕方】話し言葉と書き言葉④
第17回	【話してみよう】⑨
第18回	【表現の仕方】文のつながり
第19回	【話してみよう】復習
第20回	【表現の仕方】復習

ホースライディング Ⅰ

1. 講座名	ホースライディング Ⅰ
2. 分類	自由選択科目
3. 単位数	2
4. スクーリング	総回数：8　　必要出席回数：6　　スクーリング代替課題：0
5. レポート	総回数：4　　必要合格回数：4
6. 目標	① 馬について知ることができる （知識・技能）（主体的） 本能と性質 / 馬の感情 / 馬体の手入れ、蹄の手入れ ② 乗馬について知ることができる （知識・技能） 馬体の特徴、名称 / 馬と人間の構造比較 ③ 乗馬の準備ができる （知識・技能）（思考・判断・表現）（主体的） 鞍、勒について知ることができる 鞍の名称、つけ方 / 勒の名称、つけ方 ④ 乗馬することができる（主体的） 乗馬、下馬の仕方 / 常歩、軽速歩、速歩 / 発進と停止 ⑤ 馬上体操ができる 正しいリズムと姿勢を身に着ける
7. 活動内容	レポートで馬への基礎知識をつけ、授業は実技で行います。 ・他の人の乗馬の仕方 ・馬装の仕方を学習し、実際に鞍、勒を馬に装着する ・乗馬しながら馬上体操、発進と停止を馬と協力しながら行う。回数を重ね、各自が馬に指令を出す
8. 評価方法	・レポート（70%）とテスト（30%）
9. 教材	自主教材

スクーリング計画	
第１回	乗るための準備。馬を知る・触れる。乗馬の仕方、鞍について知る。蹄の手入れ、馬の手入れを行う。
第２回	
第３回	各自で乗るための準備。グループに分かれて①見る ②鞍を着脱 ③乗馬（常歩、軽速歩）を行う。
第４回	
第５回	各自で乗るための準備。手綱を持ちながら、各自で並足、常歩、軽速歩を馬に指示し動かす。グループに分かれて①見る ②鞍を着脱 ③乗馬（常歩、軽速歩）しながら馬に指示をだし、方向を変える。
第６回	
第７回	グループに分かれてテストを行う（実技とチェックテスト）
第８回	

総合的な探究の時間

1. 講座名	命の尊さについて
2. 分類	必修科目
3. 単位数	1単位
4. スクーリング	総回数： 4　必要出席回数： 4
5. レポート	総回数： 2　必要合格回数： 2
6. 目標	自尊感情を適度に持つことを念頭に、自分自身のアイデンティティーについて考える。また、これから社会に出ていくにあたって知っておくべき現代社会の課題について考える。
7. 活動内容	・現代社会の課題と高校生が置かれている状況を知る ・自分自身を客観視する材料としてエゴグラムに取り組む ・自分の今までを振り返り、これからについて考えるために、自分史を作成する
8. 評価方法	・レポート（100%）
9. 教材	プリント教材

スクーリング計画	
第 1 回	現代社会の課題と若者を取り巻く環境　レポート①
第 2 回	現代社会の課題と若者を取り巻く環境　レポート①
第 3 回	自尊感情とアイデンティティー　レポート②
第 4 回	自尊感情とアイデンティティー　レポート②

特別活動

YMCA のネットワークを生かし、様々な人びととつながるために特別活動を設定しています。
学校内でも学年やコースを越えた関わりがあり、安心できる環境を作っていきます。

ホームルーム活動	ホームルームは、年間に５回開催予定です。（各１時間認定） また各期（前・後期）開始前に、ホームルームごとに個別に講座登録を行います。 （各１時間認定）	
学　校　行　事	季節の学校行事	入学礼拝、クリスマス礼拝
	文化・学芸的行事	音楽鑑賞、映画鑑賞などの文化体験
	健康安全・体育的行事	ハイキング、スポーツ大会
	ボランティア行事	街美化、街頭募金、チャリティーラン
	その他教育活動など	人権に関するフォーラムやシンポジウム サークルや部活の大会参加
	YMCA 公式プログラム	YMCA が主催し、学校が認めたプログラム
進路に関する活動	適切な進路に進めるよう知識を得て、将来について考えていきます。 ①大学・短大・専門学校のオープンキャンパス、企業の応募前職場見学。 （ただし、この方法での取得可能時数は、上限 10 時間までです。） ②指定された進路ガイダンス、ホームルーム担任との進路相談、合同求人説明会、ジュニア・インターンシップ など。	
自然体験活動	YMCA が認めたプログラム。2022 年度より一般社団法人「ひらく」と提携。	
校外芸術・映画鑑賞	校内での映画鑑賞・音楽鑑賞とは別で、各自で出かけて行って学校指定のものを鑑賞するものです。 学校指定の展覧会や映画を鑑賞し、申請すると特別活動時間として認定します。 申請用紙は職員室にあります。（各１回２時間認定／上限 18 時間まで）	
ボランティア活動	学校内外のボランティア活動に個人で参加します。事前に学校及びボランティア主催団体からボランティア参加の承認を得る必要があります。学校外のボランティア活動に参加する場合は、一度相談してください。	

特別活動には、「ホームルーム活動」「学校行事」「進路に関する活動」「校外芸術・映画鑑賞」「ボランティア活動」があります。※ 休学期間中は、特別活動への参加や認定はできません。

2023年度特別活動プログラム（予定）

新型コロナウイルスの状況により、予定は変更になることがあります。

日 程	プログラム	場 所	時間数
4月12日	前期ホームルーム①（在校生）	本校教室	1
4月14日	入学礼拝	大阪 YMCA 会館 2F ホール	2
4月15日 4月15日 4月19日 4月19日	AMウエルカムデイ（Yﾁｬﾚﾝｼﾞｺｰｽ） PMウエルカムデイ（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・健康ｽﾎﾟｰﾂ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ・ﾄﾗﾝｽﾘﾝｶﾞﾙｺｰｽ） AMウエルカムデイ（ﾏｲｽﾍﾟｰｽｺｰｽ朝からｸﾗｽ） PMウエルカムデイ（ﾏｲｽﾍﾟｰｽｺｰｽ昼からｸﾗｽ）	本校教室	2
4月22日	進路ガイダンス（3年次生・適性検査）	本校教室	1
5月13日	進路ガイダンス（3年次生・進路スケジュール）	本校教室	1
5月19日	前期ﾊｲｷﾝｸﾞ（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・健康ｽﾎﾟｰﾂ・進学・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ・ﾏｲｽﾍﾟ＋・ﾄﾗﾝｽﾘﾝｶﾞﾙｺｰｽ）	未定	4
5月20日	進路ガイダンス（2年次生・適性検査）	本校教室	1
6月18日	スポーツ大会	未定	3
6月20日 6月22日 6月27日	前期ホームルーム②（1年次生） 前期ホームルーム②（2年次生） 前期ホームルーム②（3年次生）	本校教室	1
9月15日	前期ホームルーム③（全年次生対象）	本校教室	1
9月23日	チャリティーラン	未定	4
9月中旬～下旬	後期講座登録	本校教室	1
11月中旬	アジア学院大阪研修　基調講演会	未定	2
11月15日	映画鑑賞会	本校教室	2
12月 3日	クリスマス礼拝	未定	1
	クリスマス礼拝（ボランティア）	未定	2
	クリスマス街頭募金	JR 天王寺駅	2
12月 3日	進路ガイダンス（医療・看護・心理系進路）（1・2年次生対象）	本校教室	2
12月 7日	後期ホームルーム①（3年次生）	本校教室	1
12月 9日	後期ホームルーム①（1・2年次生）	本校教室	1
2月下旬	ピンクシャツデー	未定	2
3月13日	後期ホームルーム②（全年次生対象※卒業生除く）	本校教室	1
3月中旬	次年度前期講座登録	本校教室	1

＊その他

○「バイブルアワー」は、基本的に毎週木曜日に実施（2回の出席で特別活動1時間）します。

○「谷九クリーン（まち美化）」「ライブラリーコンサート」「各種セミナー」「バザー」「各種ボランティア」等の日程などの詳細は「学校通信」「さくら連絡網」で確認ください。